

会 告 目 次

IPSJ カレンダー	2
研究発表会開催通知	4
第 74 回マルチメディア通信と分散処理研究会 } 合同研究会	4
第 15 回グループウェア研究会	
第 79 回設計自動化研究会	5
第 12 回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	6
第 79 回グラフィクスと CAD 研究会	6
第 14 回音楽情報科学研究会	7
第 65 回ヒューマンインタフェース研究会 } 合同研究会	7
第 10 回音声言語情報処理研究会	
第 75 回マルチメディア通信と分散処理研究会	8
第 52 回全国大会 (平成 8 年前期) 概要について	9
第 53 回全国大会 (平成 8 年後期) の開催について	10
「情報検索システム評価用ベンチマーク (略称: BMIR-J1)」モニタユーザ募集のお知らせ	10
「オブジェクト指向 '96 シンポジウム」論文募集	11
Call for Participation: Multimedia Japan 96	12
平成 8 年度学会誌モニタ募集のお知らせ	13
論文査読をお願いした方へ	14
情報処理学会「書籍」申込書	16
会員の皆様へのお知らせ・お願い	17
平成 8 年度会費および論文誌購読費の納入について	18
独創的情報技術育成事業に係る研究テーマ公募のお知らせ	21
支部だより	19
雑 報	21
教 官 募 集	22
会 議 案 内	24

IP SJ カレンダー

★：共催

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
第 57 回情報システム研究会	情報処理学会	平成 8 年 1 月 16 日 (火)	当日のみ	36-12 6p	研
第 103 回人工知能研究会	同志社大	1 月 17 日 (水)	当日のみ	36-12 6p	研
★ 1996 年情報学シンポジウム	日本学会会議講堂	1 月 17 日 (水) ～ 18 日 (木)	12 月 20 日 (水)	36-12 18p	研
第 98 回コンピュータビジョン研究会	奈良先端大	1 月 18 日 (木)	当日のみ	36-12 6p	研
第 107 回ソフトウェア工学研究会	三重大	1 月 18 日 (木) ～ 19 日 (金)	当日のみ	36-12 7p	研
連続セミナー 95 ネットワーク・コンピューティング	工学院大	1 月 19 日 (金)	定員になり次第	36-12 19p	事
第 111 回自然言語処理研究会	日本アイ・ピー・ エム	1 月 19 日 (金)	前日までに参加 連絡	36-12 8p	研
第 39 回コンピュータと教育研究会	情報処理学会	1 月 19 日 (金)	当日のみ	36-12 8p	研
第 49 回アルゴリズム研究会	情報処理学会	1 月 22 日 (月)	当日のみ	36-12 9p	研
第 5 回数理モデル化と問題解決研究会	上智大	1 月 22 日 (月)	当日のみ	36-12 9p	研
第 106 回データベースシステム研究会	関西大	1 月 24 日 (水) ～ 25 日 (木)	当日のみ	36-12 9p	研
第 74 回マルチメディア通信と分散処理研究 会	静岡大	1 月 25 日 (木) ～ 26 日 (金)	当日のみ	37-1 4p	研
第 15 回グループウェア研究会	静岡大	1 月 25 日 (木) ～ 26 日 (金)	当日のみ	37-1 4p	研
第 108 回計算機アーキテクチャ研究会	島根大	1 月 26 日 (金)	当日のみ	36-12 10p	研
第 5 回プログラミング研究会	ソニー	1 月 26 日 (金)	当日のみ	36-12 11p	研
第 29 回人文科学とコンピュータ研究会	大分大	1 月 27 日 (土)	当日のみ	36-12 11p	研
第 79 回設計自動化研究会	広島市立大	2 月 9 日 (金)	当日のみ	37-1 5p	研
第 12 回オーディオビジュアル複合情報処理 研究会	早稲田大	2 月 16 日 (金)	当日のみ	37-1 6p	研
第 79 回グラフィクスと CAD 研究会	情報処理学会	2 月 23 日 (金)	当日のみ	37-1 6p	研
第 14 回音楽情報科学研究会	情報処理学会	2 月 24 日 (土)	当日のみ	37-1 7p	研
第 65 回ヒューマンインタフェース研究会	静雲荘	2 月 29 日 (木) 3 月 1 日 (金)	当日のみ	37-1 7p	研
第 10 回音声言語情報処理研究会	静雲荘	2 月 29 日 (木) 3 月 1 日 (金)	当日のみ	37-1 7p	研
第 75 回マルチメディア通信と分散処理研究 会	創価大	2 月 29 日 (木) 3 月 1 日 (金)	当日のみ	37-1 8p	研
第 52 回全国大会	電気通信大	3 月 6 日 (水) ～ 8 日 (金)	2 月 2 日 (金)	37-1 9p	事

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
連続セミナー 95 生命科学とコンピュータ	工学院大	3月22日(金)	定員になり次第	36-12 19p	事
第53回全国大会	大阪工大	9月4日(水) ～6日(金)		37-1 10p	事

【国際会議】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	照 会 先	掲載 ページ	担当
★ マルチメディア ジャパン 96	パシフィコ横浜	平成8年 3月18日(月) ～20日(水)	事務局	37-1 12p	国
★ 1996 Int'l Conference on Parallel and Distributed Systems (ICPADS '96)	ホテルストラダ 新宿	6月3日(月) ～6日(木)	事務局	36-5 8p	国

【論文募集】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	論文(応募)締切	掲載 ページ	担当
★ 平成7年度北陸地区学生による研究発表会	石川工業高専	平成8年 3月8日(金)	平成8年 2月23日(金)	37-1 20p	陸
オブジェクト指向 '96 シンポジウム	早稲田大	7月8日(月) ～9日(火)	平成8年 1月31日(水)	37-1 11p	研
★ 画像の認識・理解シンポジウム	奈良県新公会堂	7月17日(水) ～19日(金)	平成8年 1月17日(水)	36-10 21p	研
★ IFIP Congress 96-14th World Computer Congress	キャンベラ(オー ストラリア)	9月2日(月) ～6日(金)	平成8年 1月31日(水)	36-5 8p	国
★ Intl' Conference on Advances in Production Management Systems (APMS '96)	京都国際会館	11月4日(月) ～6日(水)	平成8年 1月31日(水)		国

【支部】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
北陸支部 講演会	金沢大	平成8年 1月23日(火)		37-1 20p	陸
北陸支部 講演会	石川トライアルセ ンター	1月25日(木)		37-1 20p	陸
関西支部 平成7年度第2回関西支部講演会	INS プラザ	1月26日(金)	定員になり次第	36-12 29p	西
九州支部 情報処理学会九州支部シンポジウムの案内	九州大	1月26日(金)		36-12 29p	九
北海道支部 情報処理北海道シンポジウム '96	北大	4月18日(木) ～19日(金)	3月11日(月)	37-1 19p	北

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。

注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係,
北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部, 九:九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

研究発表会開催通知

(平成8年1月25日～3月1日)

*他の1月開催分については前号(12月号)をご参照ください。

◆第74回 マルチメディア通信と分散処理研究会
◆第15回 グループウェア研究会

合同研究会

(発表件数: 42 件)

DPS (主査: 白鳥則郎, 幹事: 小花貞夫, 柴田義孝, 菅野政孝)

GW (主査: 松下 温, 幹事: 星 徹, 宗森 純, 山上俊彦)

日 時 平成8年1月25日(木) 9:30～18:00

26日(金) 9:30～17:30

会 場 静岡大学 工学部 浜松キャンパス 佐鳴会館(A会場, B会場によるパラレルセッション)

[浜松市城北3-5-1. JR(東海道線): 浜松下車, バス(15番/16番乗り場): 工学部前下車. Tel.(053)475-6103 (水野研究室)]

議 題

1月25日(木)

[9:30～12:30] (A会場)

(1) 移動型エージェントと静止型エージェントの特徴について

隆 朋也, 渡辺 尚, 太田 剛, 水野忠則(静岡大), Tatsuya Suda (California Univ.)

(2) 動的環境における自律エージェントの環境観測に関する考察 水野升裕, 佐藤文明, 渡辺 尚, 水野忠則(静岡大)

(3) ECFSM モデルの通信プロトコルに故障耐性機能を付加する一手法 片倉健一, 樋口昌宏, 藤井 護(阪大)

(4) 複数のFSMからなるプロトコル機械に対する適合性試験の一手法 鍛 忠司, 東野輝夫, 谷口健一(阪大)

(5) LANにおける自律管理システムに関する研究: ユーザー管理および共有ファイルシステム管理

宮本幸彦, 伊東靖英, 山下雅史(広島大)

(6) 計算機ネットワークに自律的に適応する分散システムの検討 谷江 健, 角川裕次, 藤田 聡, 山下雅史(広島大)

[13:30～14:10] (A会場)

(7) 招待講演: Human-computer interaction aspects in CSCW systems

Juergen Friedrich (Bremen Univ./ Keio Univ.)

[14:20～15:50] (A会場)

(8) 教育用プラットフォーム DEMPO II の評価と改良

吉野 孝, 井上 穰, 宗森 純, 伊藤士郎, 長澤庸二(鹿児島大)

(9) 概念レベルにおける合意形成支援

相羽康郎, 平川正人, 市川忠男(広島大)

(10) CSCW の対話における発言意図の推定に関する研究 (4)

小島圭一, 岡本敏雄(電通大)

[14:20～15:50] (B会場)

(11) ネットワーク型仮想現実環境における三次元オブジェクト情報の通信方式

碓崎賢一(九工大)

(12) 連続メディアサービスのためのQoS保証および交渉機能

橋本浩二, 渡辺光輝, 柴田義孝(東洋大)

(13) インターネットにおけるQoSビジュアライザ

福田晴元, 小野 諭, 高橋直久(NTT)

[16:00～18:00] (A会場)

(14) 個人モデルを用いた表情分析/合成による感情通信システム

倉石英俊, 柴田義孝(東洋大)

(15) 人の感性を考慮し, 風景描写文から風景画像と音風景を作り出す試み

大久保達真, 大木直人, 寺本邦夫, 岡田謙一, 松下 温(慶大)

(16) 仮想環境における自動プレゼンテーションシステム

赤嶺義寿, 碓崎賢一(九工大)

(17) 仮想大学における講義のあり方に関する研究

小島祐治, 加藤淳也, 前田泰宏, 真田勝久, 岡田謙一, 松下 温(慶大)

[16:00～17:30] (B会場)

(18) ATM 高速通信ボードの構成と評価

丸山 充(NTT)

(19) マルチキャストサーバ方式によるATM上のIPマルチキャスト通信

石川憲洋(NTT)

(20) ATM上に構築したインターネットにおける高速通信に関する課題について

籠 浩昭(早大), 若原俊彦(NTT), 村岡洋一(早大)

1月26日(金)

[9 : 30 ~ 12 : 40] (A 会場)

- (21) PSE (プログラム支援環境) における知的生産性の向上策としてのグループウェア (GW) の効用について
矢島輝邦 (日立)
- (22) メタレベル記述可能なワークフロー支援システム
井坂源樹 (東北大), 布川博士 (宮城教育大), 宮崎正俊, 白鳥則郎 (東北大)
- (23) ワークウェブシステムの実現
垂水浩幸, 石黒義英, 田渕 篤, 吉府研治, 喜田弘司, 朝倉敬喜 (NEC)
- (24) 構造変更に対応する WWW サーバの運営方法
坂本 啓, 新井克也, 中畝 弘, 桑名栄二 (NTT)
- (25) WWW 上におけるグループウェアセキュリティの実現
古川泰弘 (SRA)
- (26) 加入者アクセス網の共同監視を支援する分散型ユーザインタフェース
福井真吾, 大石一敏, 藤 泰子, 江頭 徹 (NEC)

[9 : 30 ~ 12 : 40] (B 会場)

- (27) 双方向ビジーバックを用いた動的負荷分散における負荷情報の補間法
染葉佳代子, 太田 剛, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
- (28) ビジーバックを用いた負荷分散方式の近似解析
鏡味秀行, 太田 剛, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
- (29) 広域ネットワーク環境における情報分散
小口正人 (学情センター)
- (30) グループ通信における補償方法
田中勝也, 滝沢 誠 (電機大)
- (31) 組織間網環境におけるアクセス制御方式の提案
寺田真敏, 芳原誠二 (IPA), 村山優子 (広島市立大)
- (32) 超流通のためのプログラマブルな情報流通システムの提案
三石 大 (東北大), 布川博士 (宮城教育大), 白鳥則郎 (東北大)

13 : 30 ~ 14 : 10] (A 会場)

- (33) 招待講演 : IntelligentPad : ミームメディアとミームブールのアーキテクチャ
田中 譲 (北大)

14 : 20 ~ 15 : 50] (A 会場)

- (34) WWW プロキシサーバのログに基づいたキャッシュ置き換えアルゴリズムの評価
大澤範高, 早野文孝, 弓場敏嗣, 箱崎勝也 (電通大)
- (35) インターネットにおけるドメインキャッシュサーバの導入
高品智一, 水野忠則 (静岡大)
- (36) インターネットにおけるネットワーク遅延予測の一考察
城谷貴志, 太田 剛, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)

14 : 20 ~ 15 : 50] (B 会場)

- (37) 衛星回線用同報プロトコル
飯田 登 (三菱電機), 水野忠則, 渡辺 尚 (静岡大)
- (38) 映像会議システム用高速シリアルバス (IEEE 1394) 通信方式
鈴木昌則, 藤本卓也 (三菱電機), 影山敏宏 (三菱電機東部コンピュータシステム)
北山洋幸 (スペースソフト), 小泉寿男 (三菱電機)
- (39) 分散システムにおける因果関係を保存するメッセージ配送プロトコル
真鍋典行, 多田知正, 樋口昌宏, 藤井 護 (阪大)

16 : 00 ~ 17 : 30] (A 会場)

- (40) 分散 RAID 方式ビデオサーバー (その 2)
中村俊一郎, 峯村治実, 山口智久 (三菱電機), 清水 洋, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
- (41) WWW における公開鍵証明書に基づくユーザ認証 Catbell
— Catbell-An authentication system based on public key certificate in World Wide Web — 菊池浩明 (東海大)
- (42) マルチメディアインフォメーションサーバ MineS によるメディア構築
南野謙一 (東北大), 布川博士 (宮城教育大), 宮崎正俊 (東北大)

▶第 79 回 設計自動化研究会

(発表件数 : 11 件)

(主査 : 中村行宏, 幹事 : 小野寺秀俊, 長 光雄, 松田庸雄)

| 時 平成 8 年 2 月 9 日 (金) 10 : 00 ~ 16 : 45

: 場 広島市立大学 情報科学部棟 2F 第二会議室

[広島市安佐南区沼田町大塚 151-5. JR 広島駅より JR (可部線) : 大町 (20 分) 下車, アストラムラインに乗り換え, 大塚 (17 分) 下車, 広電バス (広島市立大学行) : 終点 (6 分) 下車, 徒歩 5 分. アストラムラインは広島市中心部の紙屋町より乗ることもできます (40 分). Tel.(0824)24-7678 (若林真一)]

| 題

0 : 00 ~ 12 : 00]

-) 代数的手法を用いた CPU KUE-CHIP2 の段階的設計およびその正しさの証明

北嶋 暁, 森岡澄夫, 島谷 肇, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

(2) 代数的手法を用いたパイプライン方式 CPU の設計検証

島谷 肇, 森岡澄夫, 北嶋 暁, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

(3) An exact minimization of AND-EXOR expressions using encoded MRCF

越智裕之 (広島市立大)

(4) Generating a Hierarchical Simulation Model on the Basis of Functional Model of Register Transfers

Takeshi UCHIDA, Hitoshi KIYA, Akihiko YAMADA (Tokyo Metropolitan Univ.)

[13 : 00 ~ 16 : 45]

(5) エントロピー CODEC の高位合成手法

鈴木克青, 戸川 望, 佐藤政生, 大附辰夫 (早大)

(6) 伝送フレームに着目したデジタル通信システム設計手法

白川千洋, 樋口一茂, 宮崎敏明, 林 一博, 山田一久 (NTT)

(7) スタンダードセルレイアウト設計における最適ピン割当て

岸本善久, 若林真一, 小出哲士 (広島大), 吉田典可 (広島市立大)

(8) 抵抗アレイモデルを用いたアナログ回路用概略配線

岡田和久, 小野寺秀俊, 田丸啓吉 (京大)

(9) 分枝限定法によるアナログブロック内概略配線~その2

宮成 智, 渡辺孝博 (山口大)

(10) MMIC 用自動配置配線の一手法

吉岡智良, 長尾 明, 神戸高志 (シャープ)

(11) MCM 配線手法 "V4R" の性能向上化

藤井 力, 渡辺孝博 (山口大)

◆第12回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 安田 浩, 幹事: 一之瀬進, 児玉 明, 村上仁己)

日 時 平成8年2月16日(金) 13:00 ~ 17:10

会 場 早稲田大学 理工学部 55号館 N棟 1F 大会議室

[東京都新宿区大久保3-4-1. JR または地下鉄: 高田馬場下車, 徒歩10分. Tel.(03)3203-4141]

議 題 テーマ: MPEG4 およびマルチメディア一般

(1) 挨拶

安田 浩 (NTT)

(2) DAVIC 活動状況報告

川島正久, 笠原久嗣 (NTT)

(3) MPEG4 活動の現状

三木俊雄 (NTT ドコモ)

(4) 背景分離型適応可変フレームレート動画画像符号化方式

宮地悟史, 松本修一 (KDD)

(5) 適応グローバル MC とローカルアフィン MC を用いた低レート画像符号化

如沢裕尚, 上倉一人 (NTT)

(6) 画像コンテンツの符号化とその編集加工への応用

粕谷英司, 宮森 恒, 富永英義 (早大)

(7) テレビ会議システムにおけるマルチメディアドキュメントの双方向遠隔操作および自由再生手法の研究

伊関宏心 (Iseki Atsumoto), 當麻 徹, 富永英義 (早大)

(8) スケーラビリティ機能を有する文書画像通信システムの研究

金 云泰, 児玉 明, 富永英義 (早大)

(9) 低ビットレートオーディオ分析/合成符号化

小館亮之 (早大), Bernd Edler (Univ. of Hannover)

* 電子情報通信学会 (画像工学研究会), IEEE 東京支部 (BT グループ) 協賛。

◆第79回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 大野義夫, 幹事: 斎藤 剛, 福井一夫, 間瀬健二)

日 時 平成8年2月23日(金) 13:00 ~ 16:45

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR: 田町(東口)下車, 徒歩7分. または地下鉄(浅草線, 三田線): 下車, 徒歩10分. Tel.(03)5484-3535]

議 題

(1) 加工過程モデルを用いた2次元板金図面からの立体復元

粉 誠一, 渡辺俊典 (電通大)

(2) 遺伝的アルゴリズムによるダイナミックアニメーションタイトル

上田 剛 (阪大), 李 七雨 (LIST), 谷内田正彦 (阪大)

(3) 二次元ドローデータによる三次元多関節構造体のモデリング

新井清志, 堀井洋一 (日立)

(4) 映像特殊効果のための構成的パーティクルシステム

三好雅則, 栗原恒弥, 安生健一 (日立)

(5) リアルタイム・モーションキャプチャの放送利用

久野忠文, 坂本敏幸, 佐藤裕幸, 福井一夫 (NHK), 坂井滋和 (九州芸工大)

(6) 適応的テクスチャマッピングを用いたTime Critical Rendering の実現

丸山知子, 藤代一成 (お茶の水女子大)

(7) CG 動画の効果的圧縮に関する研究

山田哲生, 大野義夫 (慶大), 大山公一 (GCL)

◆第14回 音楽情報科学研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 鈴木 孝, 幹事: 志村 哲, 中村滋延, 平賀 謙)

日 時 平成8年2月24日(土) 10:00 ~ 16:30

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)

議 題

[10:00 ~ 12:10]

(1) GA を用いたピアノ演奏の局所テンポ解析

山内敏彰, 野池賢二, 野瀬 隆, 乾 伸雄, 小谷善行, 西村恕彦(農工大)

(2) 長唄における唄と三味線の付き方

藤井 誠, 矢向正人(九州芸工大)

(3) 長唄三味線の旋律シミュレーション

島海英宏, 矢向正人(九州芸工大)

[13:20 ~ 16:30]

(4) すべてのプレーヤーが対等なジャズセッションシステム (1) システムの全体構想と分散環境での実装

後藤真孝, 日高伊佐夫, 松本英明, 黒田洋介, 村岡洋一(早大)

(5) すべてのプレーヤーが対等なジャズセッションシステム (2) ペーシストとドラマーの実現

日高伊佐夫, 後藤真孝, 村岡洋一(早大)

(6) 計算機によるピアノ伴奏

小川大典, 戴 岡, 五十嵐 滋(筑波大)

(7) 大域結合カオスのコンピューターミュージックへの応用

平野砂峰旅(アイ アンド アイ)

◆第65回 ヒューマンインタフェース研究会

◆第10回 音声言語情報処理研究会

合同研究会

(発表件数: 19 件)

HI (主査: 竹林洋一, 幹事: 来住伸子, 浜田 洋, 山本吉伸)

SLP (主査: 中川聖一, 幹事: 新田恒雄, 岡田美智男, 小林 豊)

日 時 平成8年2月29日(木) 13:00 ~ 18:00

3月1日(金) 8:45 ~ 15:00

会 場 文部省共済組合箱根宿泊所「静雲荘」

[神奈川県足柄下郡箱根町強羅1320. 小田原より箱根登山鉄道: 強羅下車, 徒歩10分. Tel.(0460)2-3591]

議 題 特集: 音声・マルチモーダル対話インタフェース, および一般

2月29日(木)

(1) 招待講演: マインドスキャナー—ニューロベピー—

土佐尚子(ATR)

(2) 音声とジェスチャのマルチモーダルインタフェースシステムの一評価実験

伊藤慶明, 木山次郎, 中沢正幸, 古川 清, 岡 隆一(RWC)

(3) 協調型タスクにおける非言語情報の使われ方

矢野博之, 伊藤 昭(通信総研)

(4) クリックを使わないマウスの動きと音声を入力とするインタフェース

中嶋秀治, 加藤恒昭(NTT)

(5) ユーザインタフェースへの効果音利用に関する一考察—98 サウンドエフェクタの開発—

和気早苗, 旭 敏之(NEC), 林 保(NEC 情報システムズ), 森本浩正(作曲家), 瑞穂 洋(NEC)

(6) 音声対話システムにおけるヒューマン・インタフェース—引き込みを中心として—

渡辺富夫(岡山県立大)

(7) 韻律パターンの認識を用いた相槌挿入とその評価

岡登洋平, 加藤佳司, 山本幹雄, 板橋秀一(筑波大)

(8) 対話のありうる姿—対話現象に対する構成論的アプローチ—

猪口聖司, 鈴木紀子, 岡田美智男(ATR)

(9) 対話コーパスにおける下位発話単位の存在について

土屋 俊, 堀内靖雄, 小磯花絵, 市川 熹(千葉大)

3月1日(金)

[8:45 ~ 12:00]

(10) 情報可視化のためのデータビジュアル化モデル

黒川 清, 磯部成二, 塩原寿子, 鬼塚 真(NTT)

(11) 研究者向け動画通信システムプログラミング環境の設計と実装

嶋田総太郎(慶大), 山本吉伸(電総研), 安西祐一郎(慶大)

(12) 要求駆動型 viewer — DDD — と追従制御メカニズム

神武直彦(慶大), 山本吉伸(電総研), 安西祐一郎(慶大)

(13) ExtractRequest —利用者への情報開示に基づく検索要求抽出

篠原靖志(電力中研)

(14) 小形計算機システムにおけるユーザ中心のインタフェース

津原 進(日立)

(15) 視線を用いたユーザインタフェース開発環境 EyeTK

高木啓伸(東大)

[13:00 ~ 15:00]

(16) オンライン言語処理モデルにおける自己修復文の解析手法

伊藤雅浩, 佐川雄二, 大西 昇(名大)

(17) 休止を単位とした発話の文法

秋葉友良, 伊藤克亘(電総研)

(18) ニュース音声中の語彙反復による情報検索—部分空間射影に基づく話者正規化の応用—

田頭茂明, 有木康雄 (龍谷大)

(19) 音声対話システムにおける協調的応答

伊藤敏彦, 中川聖一 (豊橋技科大)

◆第75回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(主査: 白鳥則郎, 幹事: 小花貞夫, 柴田義孝, 菅野政孝)

日 程 平成8年2月29日(木)・3月1日(金)

会 場 創価大学(八王子) *日程, 会場ともに変更になっていますので, ご留意ください.

議 題 *詳細は次号(2月号)に掲載されますのでご参照ください.

研究会 論文募集

◆音楽科学研究会

日 程 平成8年5月25日(土)・26日(日)

会 場 広島文化女子短期大学(広島市)

*日本音楽知覚認知学会と共催(予定).

*申込方法等詳細は次号に掲載.

◆第10回 分散システム運用技術研究グループ研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 石田晴久, 幹事: 岩原正吉, 箱崎勝也, 林 英輔)

日 時 平成8年1月25日(水) 13:30~17:30 (終了時間は予定)

会 場 九州大学 大型計算機センター 多目的講習室

[福岡市東区箱崎6-10-1. 福岡空港から地下鉄(空港, 箱崎線): 箱崎九大前下車. Tel.(092)641-1101]

議 題

(1) 電子メールによるスーパーサーバの遠隔利用機能

伊藤 勉, 廣澤敏夫, 山岸 正, 上西博文(日立)

(2) ディレクトリ・サービス構築支援ツールの開発

手塚 悟(日立)

(3) パソコン群向き Netware を介した UNIX Network サービスの提供

吉田裕樹, 島村 浩, 高山文雄, 川合英俊(いわき明星大)

(4) 情報教育のための授業支援環境の構築—異組織間におけるファイル共有機能の設計—

山井成良(阪大), 安倍広多(NTT), 松浦敏雄(大阪市立大)

原田 章, 重弘裕二, 馬場健一, 安留誠吾, 齊藤明紀, 中西通雄(阪大)

(5) インターネットの障害監視用分散システム pingd の運用実験

田原俊一, 石田慶樹, 古川善吾, 牛島和夫(九大)

(6) KARRN バックボーントラフィックとバックボーンブリッジ化について

吉田和幸(大分大)

(7) 会議モデルに基づいた音声会議ツールの開発

岡田 浩(佐賀大), 渡辺健次(和歌山大), 近藤弘樹(佐賀大)

*照会先: 古川善吾(九大) e-mail: zengo@ec.kyushu-u.ac.jp Tel.(092)641-1101(ext.2651) Fax.(092)641-4047

第52回全国大会（平成8年前期）概要について

- 日 程 平成8年3月6日（水）～8日（金）
- 会 場 電気通信大学（東京都調布市調布ヶ丘）
- 参 加 費 電子情報通信・電気・照明・テレビジョン各学会会員は本会会員扱いとします。
（賛助会員は正会員に準じます。）
会員：2,000円 非会員：4,000円 学生：無料
- 論文集・参加予約 2月2日（金）締切（学会誌12月号会告参照）
分 冊 予約価各：4,000円（定価各：6,000円）
セット（6分冊一揃、講演者索引・カバー付）予約価：24,000円（定価：36,000円）
- プログラム プログラムの詳細は2月号（2月15日発行）に掲載されます。
- 大会開会式 [3月6日 12：30～13：00]
- 懇 親 会 [3月6日 17：30～17：30、於：電通大内（予定）]
- 招待講演1 [3月6日 13：00～14：30]
サイバースペースにおける情報と著作権 北川善太郎（京大）
- 招待講演2 [3月7日 12：30～14：00]
ソフトウェアから見た情報システム 藤野喜一（電通大）
- パネル討論 [3月8日 12：30～14：45]
メディアネットワークと情報教育（仮題） 司会：大岩 元（慶大）
パネラ：浜野保樹（放送教育開発センター）、美馬のゆり（川村学園女子大）、
戸塚滝登（富山市立藤の木小学校）、堀内征治（長野高専）
- [3月7日 14：15～17：00]
計算機科学国際研究所構想—21世紀に向けての体制づくり（仮題） 司会：土居範久（慶大）
パネラ：未定
- シンポジウム [3月6日 14：45～17：00]
倫理綱領シンポジウム 司会：名和小太郎（新潟大）
パネラ：米田英一（東芝）、塚本享治（電総研）、土屋 俊（千葉大）、松本恒雄（一橋大）
- [3月7日 14：15～17：00]
情報と安全—マルチメディア新時代 コーディネータ：安田 浩（NTT）
講演者：富永英義（早大）、島村和典（NTT）、
中須英輔（NHK）、後藤滋樹（NTT）、山本毅雄（図書館情報大）
- [3月7日 14：15～17：00]
インターネット時代の情報発信・検索・共有 コーディネータ：田中克己（神戸大）
講演者：未定
- [3月7日 14：15～17：00]
21世紀に向けた分散システム運用技術の展望 コーディネータ：箱崎勝也（電通大）
講演者：未定
- [3月8日 12：30～14：45]
音声によるマンマシンインタフェース コーディネータ：新田恒雄（東芝）
講演者：中川裕志（横国大）、中川聖一（豊橋技科大）、
広瀬啓吉（東大）、森元 逞（ATR）、畑岡信夫（日立）、岡田美智男（ATR）
- [3月8日 12：30～14：45]
コンピュータサイエンスとしての音楽情報処理 コーディネータ：平田圭二（NTT）
講演者：未定
- [3月8日 12：30～14：45]
離陸するモバイルコンピューティング コーディネータ：水野忠則（静岡大）
講演者：松下 温（慶大）、中島達夫（北陸先端大）、塚本昌彦（阪大）、佐藤滋美（NTT データ）
- インダストリアルセッション [3月6日 14：45～17：00]
オープン化時代の情報処理システム構築事例 コーディネータ：菅野政孝（NTT データ）
- 一般セッション（論文発表申込1,098件）[3月6日、7日、8日 9：00～17：00]
- 奨励賞の表彰 第52回全国大会奨励賞受賞者の表彰を本大会開会式で行います。
- 注）今大会より招待講演、パネル討論はすべて公開（入場無料）となります。

第53回全国大会（平成8年後期）の開催について

平成8年秋の第53回全国大会は下記により開催される予定です。大会実施要領は3月号（3月15日発行）会告に掲載されますので、ご留意ください。

日 程 平成8年9月4日（水）～6日（金）
会 場 大阪工業大学情報科学部（大阪府枚方市）

「情報検索システム評価用ベンチマーク（略称：BMIR-J1）」 モニタユーザ募集のお知らせ

データベースシステム研究会 （主査：田中克己）
情報検索システム評価用ベンチマークデータベース
構築ワーキンググループ （リーダー：木本晴夫）

情報検索システムの研究開発には客観的な評価のための共通に利用できるベンチマークが必要不可欠ですが、これまで日本語文書を対象とした情報検索システム評価用のベンチマークは存在してませんでした。そこで、1993年4月にデータベースシステム研究会の下にワーキンググループを組織し、ベンチマーク作成を目指して活動してきました。このほど、日本経済新聞社のご理解のもとに新聞記事の利用許可を受け、BMIR-J1（テスト版）を完成いたしました。つきましては、モニタユーザを募集し、ベンチマークに対する意見をいただいて今後の改良に役立てたいと思っております。モニタユーザの方には、データ配布半年後をめどに簡単な利用報告を提出していただきます。なお、データ提供を受けた株式会社日経データとの契約に基づいて、配布ユーザ数を制限させていただきますので、希望者全員にテスト版を提供できない場合がありますこと（選択にあたっては本会会員が優先されます）をあらかじめご了承ください。

- 内 容
- ・評価対象新聞記事（600件）
 - ・検索要求とそれに対する正解集合（60組）
 - ・使用説明書
- 応募方法
- ご希望の方は、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX番号・電子メールアドレスを、本ベンチマークの使用目的の簡単な説明（評価対象予定のシステムの概略説明を含む）とともに次のアドレスまで電子メールでお知らせください。 e-mail:bmirwg@ipsj.or.jp
- 応募締切
- 平成8年2月20日（火）（必着）
- 配布予定
- 平成8年3月11日（月）
- 照 会 先
- NTT データ・情報科学研究所 木谷 ^{きたに} e-mail:bmirwg@ipsj.or.jp Tel.(044)548-4606
- 参考文献
- －木本ほか：情報検索システムの評価用データベースの構築の提案，情処研究報告 FI-20 (1993)
 - －石川ほか：情報検索システムの評価のためのベンチマークデータベースの構築，ADBS '93 (1993)
 - －小川ほか：日本語情報検索システムのためのベンチマークの構築，情処研究報告 DBS-100 (1994)

「オブジェクト指向 '96 シンポジウム」論文募集

オブジェクト指向に基づいたソフトウェア開発は、その成熟に向かって、一步一步歩を進めております。初期の素朴なオブジェクト指向の概念は洗練されるとともに、新しい概念を包含し、より包括的になってきております。しかし、オブジェクト指向開発は、まだまだ多くの問題点を抱えております。ソフトウェア工学研究会では、本年6月、オブジェクト指向開発によるシステム開発の理論と実践について、開発方法論、開発事例、評価、開発支援環境などの多面的テーマでシンポジウムを開催し、大好評を得ました。これに引き続いて、下記の要領で、オブジェクト指向 '96 シンポジウムを開催いたします。多数の論文のご投稿をお待ちしています。

日 程 平成8年7月8日(月)・9日(火)
会 場 早稲田大学 国際会議場
主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

論文応募要領

テ ー マ 下記を中心とした広くオブジェクト指向による開発に関連するテーマ

(1)オブジェクト指向開発方法論

オブジェクト指向分析・設計、プログラミング、検査、保守

(2)オブジェクト指向開発の管理

開発プロセス、メトリクス、見積り、評価、プロジェクト管理、教育

(3)オブジェクト指向開発の実践

オブジェクト指向によるアプリケーション開発の実践事例とその評価、既存システムからの移行

(4)オブジェクト指向による再利用

クラスライブラリ、アプリケーション・フレームワーク、パターン、コンポーネントウェアなど

(5)オブジェクト指向開発の支援環境

オブジェクト指向 CASE、リポジトリ、オブジェクト指向データベースの利用

(6)分散、並行オブジェクト指向システム

オブジェクト指向による分散処理システム、並行処理システムの開発

応募方法 (1) 投稿論文は、フルペーパーまたはショートペーパーの2種類とし、これら各々に対して研究論文と経験論文の2種類を募集します。フルペーパーは、通常の研究会の報告の様式で8ページ以内、ショートペーパーは同じく4ページ以内とします。各論文の先頭に、フルペーパーまたはショートペーパーの別、および研究論文または経験論文の別を明記してください。

(2) 発表ご希望の方は、上記に通常の研究会発表申込書を添えて提出してください。e-mail (ブレインテキストまたはPS ファイル) での応募を歓迎します。

(3) 原稿送付先 〒211 川崎市中原区下小田中2-12-5

富士通(株) 統合通信システム開発部 第2ソフトウェア開発部内 青山幹雄

Tel.(044)754-4137 (直通) Fax.(044)754-4140 e-mail:mikio@csd.ts.fujitsu.co.jp

スケジュール (1)論文応募締切 : 平成8年1月31日(水)

(2)採否通知 : 平成8年4月1日(月)

(3)カメラレディ原稿提出 : 平成8年4月30日(火)

会 先 深澤良彰(早大) Tel.(03)5286-3345 (直通) Fax.(03)5286-3345 e-mail:fukazawa@cfi.waseda.ac.jp

実行・プログラム委員

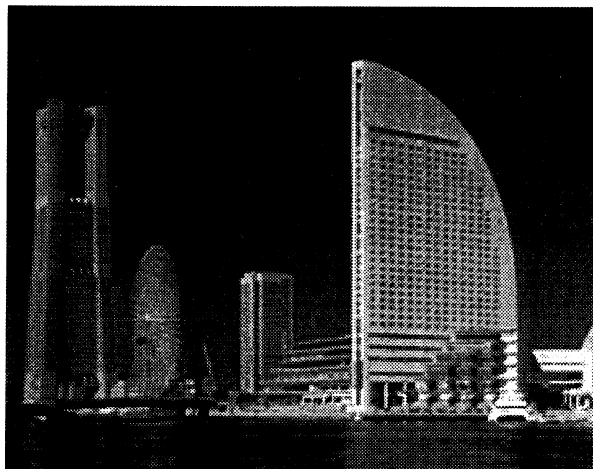
青山幹雄(新潟工科大)、荒野高志(NTT)、飯島 正(慶大)、石川 裕(RWCP)、井上 健(横河電機)、
上原三八(富士通)、大西 淳(立命館大)、岸 知二(NEC)、杉山安洋(日大)、中谷多哉子(コムニク創研)、
野呂昌満(南山大)、広本 治(CAC)、深澤良彰(早大)、古川善吾(九大)、本位田真一(東芝)、松岡 聡(東大)、
三ツ井欽一(日本IBM)、横手靖彦(ソニー)

Call for Participation: Multimedia Japan 96

Pacifico YOKOHAMA, YOKOHAMA, JAPAN March 18-20 1996

主催 (社)情報処理学会 後援 日本経済新聞社

<http://www.sfc.wide.ad.jp/mmjapan96>



名誉委員長.....相磯秀夫(慶應義塾大学)
大会委員長.....鈴木則久(ソニー)
プログラム委員長、副委員長
..徳田英幸(慶應義塾大学)
..増永良文(図書館情報大学)
..松下温(慶應義塾大学)
..白鳥則郎(東北大学)
..田中譲(北海道大学)

本会議はマルチメディア時代のための実現技術を中心としたテクニカルセッションに、チュートリアル、招待講演、展示会を併設しております。(展示会だけの参加は無料です。)

招待講演 プログラム

Andy Hopper(Cambridge Univ.).....

"Modular Networked Multimedia"

John Spackman(Criterion Software Ltd.)....

"Real Time Texture Mapping Algorithms for PC"

藤原 洋(グラフィックス・コミュニケーション・ラボラトリーズ)

"マルチメディアのためのデータ圧縮技術の役割"

久多良木 健(ソニー・コンピュータ・エンターテインメント)

"The Cutting Edge of New Generation Game Console"

チュートリアル プログラム

Larry Masinter(Xerox Parc)

"Digital Libraries, Document Management and the WWW"

B. Fuhr(Florida Atlantic Univ.)

"Interactive Television Systems and Information Superhighways"

石田 晴久(東京大学)

"インターネットワークの最近の事情"

阪田 史郎(日本電気).....

"マルチメディア・ネットワークの基盤技術とサービス"

より詳しい情報は<http://www.sfc.wide.ad.jp/mmjapan96>をご覧ください。

テクニカルプログラム(48件)、展示(12社)などの情報も提供しております。

参加費用: 96/01/31まで 非会員50,000円 会員45,000円 学生15,000円

96/02/01以降 非会員55,000円 会員50,000円 学生20,000円

会員とは、情報処理学会、ACM、IEEEのいずれかの学会の会員のことを意味します。
参加費にはProceedings, Tutorials, Exhibition, Reception(3/19開催)の費用を含みます。
(ただし、学生登録の場合は、Receptionを含みません。)

参加申し込みは、申し込みフォームをWWWホームページもしくは下記より御入手のうえ、指定の窓口に申し込み下さい。

〒441愛知県豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学 情報工学系 梅村恭司

電話:0532-47-0111 FAX:0532-48-3422 MAIL:umemura@tutics.tut.ac.jp

平成 8 年度学会誌モニタ募集のお知らせ

学会誌編集委員会

学会誌「情報処理」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、学会誌についての会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。関心のある方はぜひふるってご応募ください。

・応募の資格 正会員または学生会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

・モニタの役割 学会誌毎号の巻末の所定用紙を用いて、毎月提出する。

- ・記事に対する感想・意見
- ・記事テーマの提案
- ・その他全般的な意見・提案など

注) 学会誌の記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。
自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

・期 間 原則として 1 年間とします。

・対 象 号 学会誌 37 巻 4 号～ 38 巻 3 号

・謝 礼 貴重なお意見をいただいた方には薄謝を贈呈します。

・募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

・応募締切 2 月 23 日（金）必着
* 下記の申込書を Fax. するか、またはメールでお申し込みください。

・照 会
申込み先 〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
(社) 情報処理学会 学会誌モニタ係
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:editj@ipsj.or.jp

平成 8 年度学会誌モニタ申込書

フリガナ
氏 名 _____ 会員番号 (_____)

住 所 〒 _____
所 属 _____

Tel.() - Fax.() -
e-mail: _____

得意とする分野 _____

論文査読をお願いした方々へ

論文誌編集委員会

学会の機関誌，なかでも論文誌の刊行は学会の最も重要な活動の一つであります．それだけに論文の査読は，内容の技術的水準や，読みやすさなどを評価して，その採否を判断する非常に責任の重い仕事ですが，その性格上，報いられることの少ない，奉仕的なものにならざるを得ません．とくに当学会の論文誌は複数の査読者による並列査読を実施しており，多くの方々大変なご無理とご協力，ご尽力をお願いいたしております．

ここに学会として，ご査読をお願いした方々のお名前の一覧表を掲げて感謝の意の一端を表すとともに，論文誌をさらに充実したものとしていくために，今後とも一層のご協力を願います次第です．

なお，今回掲載分は，平成7年1月から12月までの論文誌編集委員会審議分です．

相沢 輝昭	相田 仁	青江 順一	青山 智夫	河村 知行	上林 彌彦	菅 隆志	菊野 亨
青山 幹雄	阿草 清滋	赤穂昭太郎	浅井 清	岸 知二	岸野 伸子	岸野 伸子	岸本 光弘
浅井 健一	浅田 尚紀	麻田 治男	浅野 哲夫	岸本 芳典	喜多 浩一	北川 博之	北 英彦
旭 敏之	芦原 評	鯉坂 恒夫	東 基衛	北上 始	北川 高嗣	博之 紀	北橋 忠宏
阿曾 弘具	足立 暁生	安達 淳	安倍 直樹	北村 泰彦	喜連川 優	博之 文彦	一誠 哲男
安部 憲広	甘田 早苗	天野 要	天野 真家	木下 研作	樹下 行三	文彦 隆男	木下 康則
天野 英晴	雨宮 真人	荒木啓二郎	荒野 高志	木下 俊之	晋二 明	文彦 隆男	木村 知宏
荒屋 真二	有川 節夫	有川 正俊	有澤 博	清水 康	葛岡 文生	文彦 隆男	工藤 久野
有田 隆也	有本 卓	有山 正孝	安生 健一	國枝 義敏	國島 秀士	久保 耕一	久野 靖
飯田 元	飯田 弘之	五十嵐正夫	五十嵐善英	久野 義徳	久保 文洋	久門 隆夫	久保田 光一
池上 高志	池田 尚志	池原 悟	石井 直宏	熊沢 逸夫	衆野 文洋	黒川 隆夫	栗田 多喜夫
石井 裕	石井 光雄	石浦 菜岐佐	石川 裕	栗原 正仁	樽松 明	黒川 隆夫	黒川 利明
石垣 一司	石黒 浩	石崎 俊	石川 亨	黒澤 隆	黒沢 由明	黒須 正明	黒住 祥祐
石塚 満	石測 久生	井関 治	磯田 定宏	黒橋 禎夫	桑名 栄二	黒須 陽治	黒住 誠一
磯部 祥尚	磯道 義典	板倉 稔	板野 肯三	勾坂 芳典	香田 昌史	神田 潔	河野 善彌
井田 哲雄	市川 忠男	市田 浩三	市村 哲	小鍛 治繁	古賀 一孔	小暮 信司	越塚 登
市吉 伸行	出澤 正徳	伊藤 克巨	伊藤 公俊	奥水 裕喜	小谷 明彦	小谷 貞夫	児玉 祐悦
伊藤 潔	伊藤 光恭	稲垣 耕作	稲垣 康善	小中 聡	小長谷重信	小花 研一	小原 誠一
井上 克巳	井上 克郎	井上 明	井上 桂子	小藤 憲久	小山 謙二	小山 昭夫	近藤 朗子
猪原 茂和	伊庭 斉志	今井 正治	今井 清	近藤 邦雄	後藤 修	後藤 滋樹	斎藤 信男
今井 秀樹	今井 浩	岩崎 一彦	岩田 清	斉藤 正史	斉藤 康己	佐伯 元司	酒井 博敬
井宮 淳	岩井 瑞穂	岩野 和生	岩間 一雄	相良 正彦	坂内 正夫	坂部 俊樹	坂村 健
岩田 洋夫	岩根 雅彦	上田 良寛	上野 春樹	相良 和彦	佐々木建昭	佐藤 彰人	桜井 幸一
岩元 莞二	上根 和紀	上山 憲昭	宇田川佳久	佐々木建昭	佐藤 誠	佐藤 三久	佐藤 周行
上野 元治	上原 邦昭	宇都宮公訓	宇津宮孝一	佐藤 泰介	塩原 守人	敷田 幹文	佐藤 義治
内川 嘉樹	打浪 清一	梅谷 征雄	梅田三千雄	佐藤 理史	柴山 悦哉	柴山 潔	志沢 雅彦
宇津呂武仁	梅尾 博司	浦本 直彦	江谷 典子	柴田 義孝	島崎 俊夫	嶋津 好生	渋谷 政昭
梅村 護	浦野 義頼	江原 眞将	王 晋申	清水 謙多郎	清水 謙多郎	嶋津 好生	島津 明
越後 富夫	大内 東	大駒 誠一	大沢 裕	下辻 成佳	尺長 健	周 俊幸	下平 作士
大岩 元	大須賀昭彦	太田 寛	大田 友一	白川 友紀	白鳥 則郎	新城 靖	首藤 公昭
大芝 猛	大友 照彦	大西 淳	大野 徇郎	末吉 敏則	菅沼 明	菅野 政孝	進藤 達也
大槻 繁	大蒔 和仁	大松 繁	大本 英徹	杉藤 芳雄	厚吉 安洋	杉原 正顯	菅原 研次
大野 義夫	岡田 謙一	岡田 瑞史	岡本 栄司	杉山 健司	鈴木 貴	杉山 裕二	杉本 重雄
大森 健児	小川 克彦	小川 博	奥村 明俊	鈴木 健司	鈴木 重雄	鈴木 則久	杉本 克志
岡本 久	奥富 正敏	長田 直樹	奥村 明俊	春原 猛	炭野 重雄	諏訪 基	関 均
奥村 学	小倉 久和	小野山 隆	落木浩一郎	世木 博久	関口 智嗣	仙波 一郎	全 炳東
小野 寛晰	小野寺民也	小柳 義夫	折原 良平	曾谷 俊男	曾和 智	高澤 裕信	高島 洋典
小柳津育郎	小柳 滋	角田 良明	角田 博保	高橋 憲男	高橋 憲男	滝沢 誠	高橋 義造
嘉数 捷彦	笠原 宏	笠原 博徳	櫻尾 次郎	武井 恵雄	武川 直樹	竹下 亨	田口 辰興
梶 博行	片岡 靖詞	勝山 光太郎	勝山 恒男	竹田 尚彦	武田 正之	竹中 市郎	竹林 洋一
桂林 浩	加藤 和彦	加藤 恒昭	金子 健一	田胡 和哉	田島 譲二	多田 好克	田中 真
金田 康正	金森 吉成	金子 俊一	金子 正秀	田中 純一	田中 二朗	輝雄 康仁	田中 俊明
狩野 均	上村 務	亀山 幸義	亀井真一郎	唐津 修	田中 孝一	田中 啓吉	田中 義一
亀田 壽夫	亀山 充隆	川合 英俊	川口 剛	谷口 健一	谷口 秀夫	田畑 啓吉	田中 謹也
河合 和久	川合 慧	川嶋 稔夫	河原 康雄	玉井 哲雄	玉置 久	田丸 啓吉	田村 進一
川越 恭二	川崎 淳	川嶋 稔夫	河原 康雄	玉井 哲雄	玉置 久	田丸 啓吉	田村 進一

– 15 –

情報処理学会「書籍」申込書
(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申込者					
A：会員/非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名		
D：勤務先			E：ご所属		
F：ご住所	〒				
G：TEL			H：FAX		
I：e-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと	
J：照会先／送本先	

「書籍」リスト			
書籍名／コード名	希望部数（冊）	単価（円）	金額（円）
K-1-(a)：	K-1-(b)：	K-1-(c)：	K-1-(d)：
K-2-(a)：	K-2-(b)：	K-2-(c)：	K-2-(d)：
K-3-(a)：	K-3-(b)：	K-3-(c)：	K-3-(d)：
K-4-(a)：	K-4-(b)：	K-4-(c)：	K-4-(d)：
K-5-(a)：	K-5-(b)：	K-5-(c)：	K-5-(d)：
合 計	L-1：	L-2：	L-3：

M：支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *
	(2) 三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *
	(4) 現金持参
	(5) 現金書留
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと

N：送金名義人		
O-1：請求書 通	O-2：見積書 通	O-3：納品書 通
P：請求書記載名義		
Q：送金に関する問合せ先		

申込先 (社)情報処理学会 図書係
〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:tosho@ipsj.or.jp

*e-mailでの申込み：各項目はカンマ（,）で区切り、(1) ... (5)は選択、その他は文字を記入のこと。
【例】A: (1) , B: 9999999, C:情報太郎, . . . K-1-(a):情報処理Vol.36 No.1, K-1-(b):1, K-1-(c):1600, K-1-(d):1600,
M: (1) (1月30日送金予定), N:情報太郎, O-1:1, O-2:1, O-3:1, P: (株)××電気, . . .

会員の皆様へのお知らせ・お願い

〔会の手続きについて〕

「入会申込書」(学会誌奇数月号巻末添付)に必要な事項をご記入のうえ会員係宛に送付いただき、同時に下表の入会金および年会費を郵便振替・銀行振込等でお振込ください。
なお、入会に関する詳しいご案内については、「入会のおすすめ」(学会誌3月・9月号巻末)をご参照ください。

入会金、年会費、購読費(平成8年度)

	資 格	入会金	年会費	学会誌	*論文誌	研究会登録費
正 会 員	専門の学識または相当の経験を有する者	2,000 円	9,600 円	無料配付	有 料 6,600 円	*** 各研究会ごとに 3,500 円～5,600 円程度
学生会員	大学、短大、高専、専門学校またはこれに準ずる学校の在学学生	—	4,800 円	無料配付	有 料 6,600 円	〃
賛助会員	本学会の目的事業を賛助する者または団体	—	** 1 口につき 50,000 円	無料配付	有 料 6,600 円	〃
購 読 員 (会員資格なし)	・大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体 ・賛助会員である企業の事業所あるいは研究所	—	購読員 ** 1 口につき 26,880 円	配付	配付	

*何口でも可 ***研究会登録費は毎年改定
非会員の場合は、論文誌 16,200 円(論文誌は 1 冊 1,700 円～2,000 円送料別)

振込先 郵便振込：郵便振替口座 0 0 1 5 0 - 4 - 8 3 4 8 4
銀行振込：第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普) 1 0 1 3 9 4 5
 三菱銀行 虎ノ門公務部 (普) 0 0 0 0 6 0 8
名義人 : 社団法人 情報処理学会

お振込みの際には下記の 2 点についてご注意ください

銀行振込の場合：振込人氏名には必ず会員番号・氏名を明記してください。個人名で振込めない場合、数
名分をまとめて振込む場合、行事参加費等の費用とまとめて振込む場合には、別途送金詳細を会員
係までご連絡ください。

郵便振替の場合：振込人住所、氏名、電話番号、送金内訳を必ずご記入ください。

〔新入会員勧誘のお願い〕

情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方で、お近くに入会ご希望の方が
いらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。電気・電子情報通信・照明・テレビジョン各学会員で在会証明書を入会申
書に添付した場合には、入会金(2,000 円)が免除となります。

〔変更連絡について〕

送本先等会員データのご登録内容に変更のある方は、「変更連絡届」(学会誌偶数月号巻末添付)または書面等
(fax・e-mail 可)にてご連絡ください。毎月 20 日締切りで、翌月号から変更となります。

〔退会について〕

退会を希望される方は、退会の旨(会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したもの)を書面等
(fax・e-mail 可)にてご連絡ください。また、住所変更等があれば併記してください。

なお、会費および論文誌購読費未納の方には、後日月割で精算のうえ請求させていただきます。

平成8年度会費および論文誌購読費の納入について

新年あけましておめでとうございます。昨年同様本年もよろしくお願い申し上げます。

平成8年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を個人会員（一括扱い会員は除く）の方へ今月中旬に発送いたします。会費および購読費は前納を原則としておりますので、3月末日までにご納入いただきますようお願いいたします。なお、平成7年度請求額に対する不足額のある方は、大至急（1月25日必着）ご納入ください。正会員の方で期日までに会費分の入金が確認できませんと、平成8年度役員選挙投票用紙は発送いたしませんのでご留意願います（平成7年度請求額に対して50%以上の滞納がある方は9月号から送本を停止しております）。

〔平成8年度会費・論文誌購読費〕

会費は平成7年度と同額で据置です。

論文誌購読費は改定になります。

会 費： 正会員 9,600 円 学生会員 4,800 円

論文誌購読費： 6,600 円 （平成7年度4,500円）

〔銀行口座自動振替登録の方へ〕

今月中旬に口座振替のご案内を送付いたします。平成8年度会費および購読費は平成8年3月27日（水）にご指定の口座から振替いたします。預金残高をご確認いただき振替額不足にならないようご注意ください。

振替された場合には、預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。

また、銀行口座を変更される場合には、新規登録と同様に「預金口座振替依頼書」を事務局会員係までお送りください。
変更締切：平成8年2月16日（金）事務局必着

平成7年度末退会をご希望の方は、平成8年2月29日（木）必着で退会の旨を書面等（Fax・e-mail可）にてご連絡ください。振替後の返金はできませんのでご注意ください。

〔郵便口座自動払込制度のご案内〕

平成8年度より郵便局の貯金口座からの自動払込も実施することにいたしました。引落日は、毎年3月27日（土日祝祭日の場合は翌営業日）です。本制度の申込方法は、お近くの郵便局へ通帳と印鑑をご持参いただき、郵便局備え付けの「自動払込利用申込書」に必要事項（下記参照）をご記入の上、郵便局窓口へ提出していただければ結構です。

平成8年度より本制度をご利用いただく場合には、平成8年2月9日（金）までに申込を完了してください。なお、期日までに申込を完了された方は、今月中旬に発送の郵便振替用紙による納入は不要です。また、今回は口座振替のご案内は送付いたしませんのでご了承ください。

振替された場合には、貯金通帳に「会費 ジョウショガツカイ」と印字されます。

*「自動払込利用申込書」記入方法

振込先口座番号：00150-4-83484

振込先加入者名：社団法人 情報処理学会

払込開始月：平成8年3月

払込日：27日

払込金の種別：会費 33

料金等支払人

住所氏名：会員氏名と口座名義人が違う場合には、必ず会員氏名を記入してください。

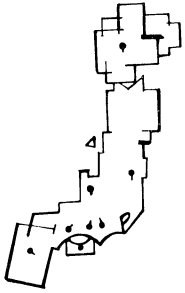
備考：会員番号を必ずご記入ください。

連絡／照会先 情報処理学会 会員係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:mem@ipsj.or.jp

支所だより



情報処理学会地方支部連絡先

北海道支部 〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内
Tel.(011)706-6819 Fax.(011)706-6819 e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp
東北支部 〒980 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院情報科学研究科内
Tel.(022)263-9437 Fax.(028)263-9437 e-mail:nakao@ecei.tohoku.ac.jp
東海支部 〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
Tel.(052)204-4517 Fax.(052)204-4521
北陸支部 〒930 富山県富山市五福3190 富山大学工学部電子情報工学科内
Tel.(0764)41-1271(ext.2707) Fax.(0764)41-8432 e-mail:hirose@ecs.toyama-u.ac.jp
関西支部 〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付
Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443 e-mail:infor-soci@kii.or.jp
中国支部 〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内
Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195 e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp
四国支部 〒770 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科内
Tel.(0886)56-7496 Fax.(0886)23-2761 e-mail:kita@is.tokushima-u.ac.jp
九州支部 〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル
NTT データ通信(株)九州支社総務担当内
Tel.(092)475-5123 Fax.(092)475-5185 e-mail:rin@is.kyushu-u.ac.jp

北海道支部 情報処理北海道シンポジウム '96 (一 Info-Hokkaido '96 一)

日時 平成8年4月18日(木), 19日(金) 9:00~17:00

会場 北海道大学学术交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

[4月18日(木)13:00~14:30(聴講自由, 無料)]

演題 メディアと工学

青木由直氏(北海道大学工学部教授)

[4月18日(木)9:00~12:00(有料)]

チュートリアル プロフェッショナルWWWオーサリング

中森工慈氏(北海道大学大学院工学研究科 MC2)

ーホット&クールな Web ホームページの作成技法について実演を交えながら解説するー

参加費 情報処理学会会員及び賛助会員 2,000円

一般 3,000円

学生(大学院生を含む) 1,000円

申込方法 電話, Fax., 電子メールまたは葉書で, 住所, 氏名, 電話番号, 所属学会, 勤務先または大学名・学科・学年を事務局まで連絡すること

申込みは, 開催日の1週間前まで, 定員(30名)になり次第締切り

[4月18日(木)~19日(金)9:00~17:00(聴講自由, 無料)]

一般講演 講演者 特に制限なし(登壇発表は1人1件とする)

講演内容 情報処理に関する最近行った研究および調査の報告, 新しい企画および開発の報告, 新製品(ソフトウェア, ハードウェア, システム)の紹介など

講演時間 形式(1) 15分以内(質疑応答時間を含む)

形式(2) 30分以内(質疑応答時間を含む)

講演形式 OHPの使用のみとする

講演予稿 オフセット印刷による

公募原稿は所定の LaTeX 形式を使用すること

講演者には講演論文集を1部進呈する(別刷は取り扱わない)

申込方法 講演申込書は所定の LaTeX 形式を使用すること

(公募原稿及び講演申込書の LaTeX スタイルファイルは事務局及び info-hokkaido メーリングリストにて配布します)

講演参加費 予稿4頁につき2,000円(ただし, 4頁以内とする)

原稿提出先 下記の事務局

原稿提出締切日 平成8年3月11日(月)午後5時必着

講演申込書および原稿に講演参加費を添えて提出すること

事務局 情報処理学会北海道支部

平成7年度奨励賞の表彰

平成7年度北海道支部奨励賞は、下記の5君に授与されました。

論文発表 情報処理北海道シンポジウム '95

会 場 平成7年4月19日～20日 北海道大学学術交流会館

・2次元同次二次変換における不動方向の大域的安定性について

吉川 毅君（北海道大学工学部，昭和45年10月23日生）

・反応拡散系を用いたテクスチャの自動生成 中森工慈君（北海道大学工学部，昭和46年11月9日生）

・カラー手袋を用いた手話認識

吉野和芳君（北海道大学工学部，昭和44年1月5日生）

論文発表 平成7年度北海道支部大会（電気関係学会北海道支部連合大会）

会 場 平成7年10月21日～22日 北海道工業大学

・ルールの自動獲得による意味構造生成手法

森 英悟君（北海道大学工学部，昭和43年9月7日生）

・占有空間解析に基づく選択的シーン記録

吉川晃平君（北海道大学工学部，昭和48年1月23日生）

北陸支部 講演会

日 時 平成8年1月23日（火）14：30～16：10

会 場 金沢大学工学部秀峰会館2F大会議室

演 題 「デジタルオーディオ技術の現状と展望」

講 師 松下電器産業株式会社映像音響情報研究所音響グループリーダー 直野博之氏

参 加 費 無料（参加資格は問いません。）

照 会 先 情報処理学会北陸支部事務局または、

〒920 金沢市小立野 2-40-20 金沢大学工学部電気・情報工学科 西川 清 Tel.0762-34-4839

講演会

日 時 平成8年1月25日（木）14：00～15：30

会 場 石川トライアルセンター 第2研修室（石川県工業試験場5F）

演 題 「実世界での利用を目指す画像理解技術」

講 師 工業技術院 電子技術総合研究所 知能情報部 画像研究室長 坂上勝彦氏

参 加 費 無料（参加資格は問いません。）

照 会 先 情報処理学会北陸支部事務局または、

〒920-02 金沢市戸水町ロー番地 石川県工業試験場 製品科学部 中野幸一 Tel.0762-67-8084(ext.2225)

平成7年度北陸地区学生による研究発表会

日 程 平成8年3月8日（金）

会 場 石川工業高等専門学校（石川県河北郡津幡町字北中条）

講演の募集要項

応募資格 情報処理学会，電子情報通信学会または電気学会の学生員，あるいは，学部学生，短大生，高専生等

講演内容 卒業論文・卒業研究の紹介，また最近行っている研究の紹介

講演時間 12分（発表8分・質疑応答4分）

講演参加費 1件 1,000円（当日受付で徴収します）

応募の制限 講演は1人1件（ただし，同一人が数件の応募論文に共著者として参加することは差し支えない）

原稿締切 平成8年2月23日（金）

講演申込みおよび照会先

〒929-03 石川県河北郡津幡町字北中条 石川工業高等専門学校 電子情報工学科内

電気関係学会 北陸支部学生会 研究発表会実行委員会 庶務担当 白山政敏 Tel.0762-88-8131(直通)

学科事務室 Tel.(0762)88-8144, Fax.(0762)88-8146

主 催 電気関係学会北陸支部学生会

共 催 情報処理学会北陸支部，電子情報通信学会北陸支部，電気学会北陸支部

独創的情報技術育成事業に係る研究テーマ公募のお知らせ

情報処理振興事業協会（IPA）では、我が国のソフトウェア技術全般の水準向上に寄与することを目的として「独創的情報技術育成事業」を実施しております。本事業においては、情報技術分野の先進的かつ独創的な研究開発の芽（技術シーズ）を発掘・育成し、それらの理論・技術の確立を目指した研究開発を行うこととしています。また、その成果を広く公開し、自由な利用をはかります。本事業に関して平成8年度研究開発テーマを大学、研究機関、民間企業等から下記のとおり広く公募いたします。

- 募集テーマ 対象とするテーマは、ソフトウェア技術分野の先進的かつ独創的な研究開発であって、本事業での成果が公共の資産として広く応用でき、成果物にソフトウェアが含まれる場合についても、第三者が自由に利用できる形式で公開可能であるものとします。
- 実施方法 次の(1)もしくは(2)のいずれかの方式で研究を実施するものとします。
- (1)請負契約方式 研究開発をIPAから提案者側へ発注。研究期間は原則として3年以内。
1テーマ年間1～5千万円程度。
- (2)研究員招聘方式 IPAに研究員を招聘して研究を実施。研究期間は3年程度。
1テーマ年間3千万円以内（研究員の人件費は別途支給）。
- 応募受付期間 1996（平成8）年1月10日（水）より2月9日（金）午後4時まで。
- 提出書類 独創的情報技術育成事業研究テーマ申請書。
公募要領、申請書等資料は次の(1)もしくは(2)のどちらかの方法で入手して下さい。
- (1)IPAホームページ <http://www.ipa.go.jp> より入手できます。
- (2)企業・団体名、所属、役職、氏名、住所、電話番号、FAX番号を明記し、下記問い合わせ先までE-MailもしくはFAXでご請求ください。後日郵送いたします。
- 問い合わせ先 情報処理振興事業協会(IPA) 技術センター「独創的事业」事務局
〒105 東京都港区芝公園三丁目1番38号
TEL：(03)3437-2301(代表) FAX：(03)3437-9421 E-Mail：doc@adm.ipa.go.jp
- < IPAは法律に基づく通産省所管の特別認可法人です >

雑 報

○C&C 振興財団「国際会議論文発表者助成候補者募集」

海外での国際会議において、半導体デバイス、情報処理、電気通信等の技術分野の論文発表をする研究者に会議出席のための費用を9～25万円の範囲で補助します。詳細は下記まで照会して下さい。

応募資格 国内の大学、国立またはこれに準ずる研究所に在籍する研究者（原則として40才以下）で、経済的必要度が高く、かつ所定の時期迄に論文採用が決定している方。

募集締切 平成8年度前期分は2月23日（開催5月1日～11月末日）、同、後期分は8月31日（開催11月～5月）です。

照会先 〒108-01 東京都港区芝 5-7-1（財）C&C 振興財団（担当 御宿）Tel.(03)3457-7711

教官募集



●財団法人九州システム情報技術研究所

募集人員	(1) 研究企画部長(研究所次長兼務) 1名, (2) 研究員 2名, (3) 研究企画部員 1名
専門分野	(1) 情報工学, 情報科学分野全般 (2) 情報通信ネットワーク, ソフトウェア工学, マルチメディア応用分野, システム設計 (3) 理工系出身者
応募資格	(1) 上記分野で業績を有し, 研究マネジメント経験のある方, 50歳前後で博士の学位を有することが望ましい (2) 上記分野で業績のある方で30歳前後の方 (3) 研究マネジメントあるいは研究環境構築の経験のある方で35歳までの方
着任時期	遅くとも平成8年6月1日まで
提出書類	履歴書, 論文リスト, 主要論文別刷, 現在までの研究内容の概要, 今後の研究計画(400字以内), 照会先2名
応募締切	平成8年2月13日
送付先	〒810 福岡県福岡市中央区天神1-8-1 福岡市経済振興局内 (財)九州システム情報技術研究所設立準備担当 「応募書類」と朱書き書留
照会先	同上 落石稔彦, 橋本 淳 Tel.(092)711-4353 Fax.(092)733-5593
その他	平成7年12月設立.

●宮城大学(仮称)

宮城県では, 平成9年4月開学を目標に, 仙台市郊外に「観光・サービス産業」に関する学部の設置準備を進めております.

募集人員	教授, 助教授, 講師計6名程度, 他に非常勤講師若干名
応募資格	流通, 料飲(フードサービス), 宿泊, 旅行, 大規模開発(リゾート), 娯楽(レジャー), 情報(ソフトハウス), 広告, 公共サービス(文化・都市・医療・福祉関連)等のサービス事業分野に関し, (1) コンピュータを使ったシステム・エンジニアリングの側面からの研究業績や職務経験があり, その内容が, 博士またはそれに準ずるものであること. 研究者, 実務家, 大学院博士課程在学者(含むオーバー・ドクター)の別を問わない (2) 非理工科系の学生を対象に, 将来, 上記サービス事業分野で活躍できるシステム・エンジニアを育成する教育について, カリキュラムを策定し, それに基づき効果的な教育を実施できること
提出書類	「公募要項」を請求の上, 同要項に則した職務経歴書を郵送のこと(受理した書類等は一切返却しません)
応募締切	平成8年2月29日
選考方法	「宮城大学(仮称)創設準備委員会教員選考専門部会」にて選考. 選考過程は非公開であり, 選考に係るいかなる照会にもお答えしません
送付先/照会先	〒980-70 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県企画部県立大学設置準備室 教務係 Tel.(022)211-2468 Fax.(022)211-2691

●岐阜大学工学部電子情報工学科

- 募集人員 助教授 1 名
 所 属 情報コース「情報基礎」
 専門分野 情報工学・情報科学分野、バーチャルリアリティ（VR）に関連する基礎あるいは応用分野
 担当科目 電子・情報工学関連科目の講義および演習
 応募資格 博士の学位を有し大学院博士後期課程の指導ができる年齢 30 歳から 35 歳位の方
 平成 8 年 6 月 1 日までのできるだけ早い時期に着任可能な方
 提出書類 履歴書、業績一覧表（論文、著書、開発システム、特許など）、主要論文別刷、健康診断書、応募者本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先
 応募締切 平成 8 年 3 月 29 日
 送付先／照会先 〒 501-11 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学工学部電子情報工学科 情報コース主任 田中嘉津夫
 Tel.(058)293-2741 e-mail:tanaka@info.gifu-u.ac.jp
 「情報コース教官応募書類在中」と朱書き書留
 そ の 他 (1) 電子情報工学科情報コースは、「情報基礎」、「知識工学」および「応用情報」の 3 大講座から構成されている。
 (2) 締切日以前に適任者が得られ次第、選考を開始する場合があります。

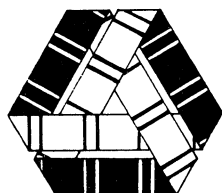
●千葉大学工学部情報工学科

- 募集人員 助教授 1 名
 所 属 情報工学科
 専門分野 計算機システム（計算機言語、ソフトウェア、コンピュータネットワーク、アーキテクチャ、ハードウェア、VLSI システムなどの計算機工学の中の分野）
 応募資格 博士（工学、学術、あるいは理学）の学位を有すること
 着任時期 できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文の別刷（コピー可）
 応募締切 平成 8 年 3 月 31 日（日）
 送付先／照会先 〒 263 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学工学部情報工学科 学科長 伊藤秀男
 Tel.(043)290-3253 Fax.(043)290-3269 e-mail:ito@ics.tj.chiba-u.ac.jp

●上智大学理工学部電気・電子工学科

- 募集人員 講師または助教授 1 名
 専門分野 通信工学
 応募資格 工学博士の学位を有し、年齢 40 歳未満であることが望ましい
 着任時期 平成 9 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、健康診断書、業績リスト（著者名、論文題名、雑誌名、巻数、年、ページを記載）、主要論文別刷 5 編以内（各 2 部づつ）、推薦書（指導教員またはこれに準ずる方）、当方から応募者の人物・能力についてご意見を求めることができる方 2 名の所属・職・氏名・連絡先
 応募締切 平成 8 年 4 月 30 日
 送付先／照会先 〒 102 東京都千代田区紀尾井町 7-1 上智大学理工学部電気・電子工学科
 Tel.(03)3238-3320 「教員応募書類」と朱書き書留

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ
切手 90 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。） ○：本会主催・共催 ◆：本会協賛

1.開催日 2.会場 3.照会先 4.その他

【国内会議】

◆ 講習会「最新のデジタル記録技術～マルチメディア時代に向けて～」

1. 平成 8 年 1 月 24 日（水）～ 25 日（木） 2. 機械振興会館（東京都港区） 3. テレビジョン学会 Tel.(03)3432-4677

◆ 第 221 回講習会「マイクロデバイス製造のための最新の可視化（顕在化）技術に関する講習会」

1. 平成 8 年 3 月 6 日（水） 2. 総評会館（東京都千代田区） 3. 精密工学会 Tel.(03)3362-1979

◆ 第 1 回ロボティクスシンポジウム

1. 平成 8 年 5 月 16 日（木）～ 17 日（金） 2. 早大国際会議場（東京都新宿区） 3. 日本ロボット学会 Tel.(03)3812-7594

◆ ソフトウェア・シンポジウム 96

1. 平成 8 年 6 月 5 日（水）～ 7 日（金） 2. 広島国際会議場（広島市） 3. 大場 充（広島市立大） Tel.(082)830-1657
e-mail:ohba@cs.hiroshima-cu.ac.jp

◆ 第 15 回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス

1. 平成 8 年 6 月 19 日（水）～ 20 日（木） 2. 明大大会館（東京都千代田区） 3. 日本シミュレーション学会
Tel.(03)3239-4738

◆ 第 21 回光学シンポジウム

1. 平成 8 年 6 月 20 日（木）～ 21 日（金） 2. 東大生産技術研（東京都港区） 3. 和田順雄（オリンパス光学工業㈱）
Tel.(0426)91-7502 e-mail:ywada@opt.olympus.co.jp

◆ 3 次元画像コンファレンス 96

1. 平成 8 年 7 月 11 日（木）～ 12 日（金） 2. 工学院大（東京都新宿区） 3. 実行委員会（(株)精機通信社内）
Tel.(03)3367-0571

◆ 電気学会電力・エネルギー部門平成 8 年大会

1. 平成 8 年 8 月 7 日（水）～ 9 日（金） 2. 阪大吹田キャンパス（吹田市） 3. 電気学会 Tel.(03)3201-0983

【国際会議】

◆ Medium/Small Sized Companies' International Technology Conference 1996 (MITEC '96) (6001)

1. 1996 年 9 月 24 日（火）～ 26 日（木） 2. 東京国際展示場（東京都江東区） 3. 事務局 中島宇寿（都立科技大）
Tel.(0425)83-5111 Fax.(0425)83-5119

◆ IAPR Workshop on Machine Vision Applications (MVA '96) (6002)

1. 1996 年 11 月 12 日（火）～ 14 日（木） 2. 慶大三田（東京都港区） 3. 実行委員長 高木幹雄（東大）
Tel.(03)3479-0289 e-mail:takagi@tkl.iis.u-tokyo.ac.jp

◆ 5th International Symposium on Fluid Control, Measurement and Visualization (FLUCOME '97 HAYAMA) (6003)

1. 1997 年 9 月 1 日（月）～ 4 日（木） 2. 湘南国際村センター（神奈川県葉山町） 3. 準備委員長 土屋喜一（早大）
Tel.(03)3203-4141 Fax.(03)3200-2567

◆ International Workshop on Soft Computing in Industry '96 (IWSCI '96) (6004)

1. 1996 年 4 月 27 日（土）～ 28 日（日） 2. 室蘭工業大学（室蘭市） 3. プログラム委員長 古橋 武（名大）
Tel.(052)789-2792 e-mail:furuhashi@nuee.nagoya-u.ac.jp

The 3rd International Symposium on Bioscience and Human-Technology (6005)

1. 1996 年 3 月 5 日（火）～ 6 日（水） 2. 工業技術院筑波研究センター（つくば市） 3. 生命工学工業技術研究所
Tel.(0298)54-6037

Computer Assisted Radiology (CAR '96) (6006)

1. 1996 年 6 月 26 日（水）～ 29 日（土） 2. フランス、パリ 3. Prof.Heinz U.Lemke Tel.+49(0)7742-7746
Fax.+49(0)7742-4391

情報処理学会機関誌原稿執筆案内

*1984 年12 月改訂
1986 年12 月改訂
1988 年 3 月改訂
1990 年 3 月改訂
1991 年 3 月改訂
1992 年 9 月改訂
1994 年 4 月改訂
1995 年 5 月改訂
1996 年 1 月改訂

本学会は学会誌「情報処理」、論文誌「情報処理学会論文誌」の2 種類の機関誌を発行している。学会誌「情報処理」は新しい技術動向をはじめとする種々の情報を掲載し、会員の知識の向上をはかるものであり、論文誌は会員の研究発表の場である。

本案内は学会機関誌の原稿執筆要領をまとめたものである。執筆上の手引きとして利用していただきたい。

1. 学会誌「情報処理」原稿執筆案内

1.1 学会誌の目的

学会誌「情報処理」は

- (1) 会員の知識の向上に資すること、
 - (2) 本学会の活動を報告し、会員各位の学会活動への参画意識を高めること、
 - (3) 会員の意見発表、討論、情報交換の場を提供すること、
 - (4) 学会の行事、ニュース、各種情報の要約等を提供すること、
- を目的としている。

とくに、(1) の目的のために、次の方針で編集を行う。

- (a) 学会誌としてのレベル、および客観性を保ちながら、思い切り読みやすく分かりやすい記述を追求する。
- (b) 先進的分野、または特定分野の横断的な解説記事を企画し、対象となる読者層を明らかにして編集を行う。
- (c) 会員に興味のある時宜にあったテーマをよりタイムリーに掲載する。

1.2 記事種目

学会誌「情報処理」には前項の目的を達成するため、第2 表に示す記事種目を設けている。

記事種目には、学会誌編集委員会が依頼する依頼記事と1.2.2 項に掲げた投稿記事がある。

1.2.1 依頼記事

- (1) 学会誌編集委員会が依頼原稿の種目ごとに標題などを決定し執筆を依頼する。依頼ページ数はそのとき指定する。
- (2) 執筆構想(執筆内容案)ができた段階で著者と協議することがある。
- (3) 依頼原稿の体裁と書き方は、1.3 項を参考とした書き方とする。
- (4) 依頼原稿は学会誌編集委員会で閲読し、著者に照会、修正を依頼する場合がある。

1.2.2 投稿記事

学会誌掲載記事に対する意見、取り上げるべきテーマの提案または学会員に関心があると思われる行事、技術の報告など会員各位の積極的な投稿をお願いする。

- (1) 投稿、提案者は原則として本学会会員に限る。
- (2) 投稿、提案の種目(第1 表参照)を明記すること。提案の場合は提案の趣旨を書き添えること、執筆候補者を付記してもよい。
- (3) 投稿する原稿の体裁と書き方は、1.3 項を参考とした書き方とする。ただし、梗概は不要である。
- (4) 投稿原稿は学会誌編集委員会で査読し、著者に照会、修正を依頼する場合がある。
- (5) 投稿、提案内容の採否については学会誌編集委員会が判断する。

1.3 原稿の体裁と書き方

印字原稿および手書き原稿は、次の(1)～(9)の順に整える。各番号別に必ず別用紙とすること。((1)～(9)でオリジナル原稿一式とする)。なお、原稿の作成は22 字/行にて作成する。

- (1) 標 題：できるだけ簡潔に、かつ内容がよくわかるように決め、日英両文で書く。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。
- (2) 著者名・所属：氏名、所属を日英両文で書く。所属は、大学・学部・学科のように3 項目で表記する。また、会員・非会員の別、著者連絡先(住所、電話番号、Fax、e-mail 等。複数著者の場合は連絡担当者)*印を付すこと)を用紙の下部に明記すること。
- (3) 本 文：不必要に長い記述を避け、要点を簡潔に伝えるように書くことが望ましい。結果を示す数式には文章による解釈を付記した方が読者には理解しやすい。以下に注意事項を記す。
 - 1) 大見出しは2 行どりとする。
 - 2) 数字、ローマ字、ギリシャ文字、記号などは特に明瞭に記載する。大文字・小文字、上つき・下つき

の別、×（かける）とX（エックス）の別など。

- 3) 句読点は“.”および“,”を用い、それぞれ1画(1字分)を用いる。
 - 4) 数式は印刷に便利なよう注意する。文中に式を挿入する場合には a/b 、 $\exp(t/r)$ のような記法を用いる。
独立した数式は1行につき2行または3行のスペースをとって書く。数式も文の一種であるから、原則として末尾に“,”または“.”を付す。ただし、プログラム言語の形式を利用する場合には、この限りではない。
 - 5) 本文中、または図・表中の変数は斜体で記載する。
 - 6) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。
 - 7) 脚注は、該当箇所に<脚注1><脚注2>のように< >で囲み、本文の最後にまとめて記述する。
 - 8) 文中の記号で太字を使用の場合は、その記号の下に～を朱書し、イタリック（斜体）使用の場合はその文字の下に朱書でーと指定する。
 - 9) 専門用語については、簡単な用語説明を添付することが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず説明をつける。
 - 10) 用語は原則として「文部省学術用語集」および「情報処理ハンドブック」を参考とする。
- (4) 謝 辞：謝辞もできるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。
- (5) 参考文献：内容に直接関係のある重要な参考文献には必ず言及すること。以下に選択のためのガイドラインを示す。1)から順に選択することとし、必要なものに止めること（特に必要なものを除いて10編程度）。

- 1) 本文を執筆する上で直接に参照および引用した文献
- 2) 本文内で直接に参照した事項に関する文献
- 3) 読者が直接的に、あるいは執筆者などを通して間接的に入手できる文献
- 4) 内容の信頼性を保ち、それがその分野などで公知である文献
- 5) 読者が本文の内容をより理解するために手助けとなる文献

これら文献に関連のある本文中の箇所には、[1] [2]のように[]で参考文献番号を挟み、末尾にその文献を参照順にまとめて記述する。

また、参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年をこの順に記す。

[例]

- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10(1960)。
 - 2) Feldman, J. and Gries, D. : Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp. 77-113(1968)。
単行本の場合には、著者、書名、総ページ数、(必要ならば) ページ、発行所、発行年を、この順に記す。
- [例]
- 3) 大山一夫：電子計算機，300 p., 情報出版，東京(1991)。
 - 4) Wilkes, M. V. : Time Sharing Computer Systems, 200p., McDonald, NewYork (1990)。
 - (6) 付 録：長い数式の誘導の過程や、実験装置、計算機についての説明などの詳細が必要な場合、これを本文中に挿入すると論旨が不明瞭になるので、付録にする方がよい。
 - (7) 図（モノクロ写真およびカラー写真を含む）：図-1のような通し番号と名称を和文または英文でつける。刷上り寸法は横幅70 mm または150 mm とし、高さは最大217 mm とする。刷上り寸法の2～3倍大にきれいに書き、文字、記号などは印刷時に縮小されることを考慮して大きめに書くこと。図は本学会でトレースする場合があるので、鉛筆書きでもよいが、トレースしにくい図は避けること。
 - (8) 表：表-1のような通し番号と名称を和文または英文でつける。刷上り寸法は横幅70mm または150mm とし、高さは最大217 mm とする。刷上り寸法の2～3倍大にきれいに書き、文字、記号などは明瞭に記入する。

なお、図・表の希望位置は印字原稿または原稿用紙上に赤字で指示すること。紙面の都合上希望どおりにいかない場合もある。また、カラーの写真・図などは経費の関係上同一ページにまとめる。

- (9) 著者紹介：解説・講座・報告・展望・論説・講演・談話室・海外だより・寄書・書評については「著者紹介」を掲載するので、著者1人について約300字の紹介文（生年（西暦）、卒業、学位、勤務先、主たる研究テーマ、著訳書、他学会会員など）と顔写真を添付すること。

1.4 原稿の提出

1.4.1 原稿の提出方法

原稿の提出にあたっては次の3方法から選択する。

- (1) 3.5 インチフロッピーディスクによる提出
- 1.3 項による印字原稿と、そのプレーンテキストが

第1表 学会誌別刷価格表（単位：円）

ページ 部数	1～4	5～6	7～8	9～10	11～12	13～14	15～16	17～18	表紙不要 の場合
100	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000	13,000	-1,100

入った MS-DOS または Macintosh で作成されたテキスト形式の 3.5 インチフロッピーディスクを併せて提出する。その際、使用したハードウェアをラベルに明記すること（フロッピーは希望がない限り返却しない）。

- ただし、MS-DOS の場合は
- 1) 文字コードは JIS コードまたはシフト JIS とする。
 - 2) 3.5 インチフロッピーディスクの媒体は、以下のとおりとする。
 - a) IBM-PC 類：2DD（720KB）あるいは 2HD（1.44MB）のいずれでも可。
 - b) NEC-PC 類：2DD（640KB）あるいは 2HD（1.2MB）
 - (2) e-mail（インターネット）による提出

1.3 項による印字原稿を提出するとともに、そのプレーンテキストを e-mail にて提出する。e-mail で提出するテキストは JIS コードとする。
 - (3) 手書原稿による提出

本学会所定の原稿用紙に記述して提出する。ただし、依頼原稿の場合は本学会事務局に請求し、投稿原稿の場合はこれを購入する。

1.4.2 原稿の送付先

原稿用紙の購入先、原稿、提案の送付先、および問合せ先は次のとおりである。

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20
 芝浦前川ビル 7F
 （社）情報処理学会 学会誌編集係
 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534
 e-mail:editj@ipsj.or.jp

- 1.5 その他
- (1) コピー：郵送中の紛失事故対策や照会の便宜などのため、原稿のコピーは必ず手元にとっておくこと。
 - (2) 正誤：著者から正誤の申し出があった場合、正誤表を最近号に掲載する。
 - (3) 別刷：依頼原稿の著者は原稿校正時に別刷を注文することができる。投稿原稿の著者は掲載時に別刷 100 部を購入していただく。別刷料金は第 1 表のとおり。カラー掲載の場合は実費をいただく。
 - (4) 原稿料：依頼原稿の原稿料は別途定める。
 - (5) 図・写真などを引用する場合は、その所有者に必ず了解を得た上で、その出典を明記すること。

第 2 表 学会誌「情報処理」の記事種目＜記事掲載順による＞

記事項目	内 容	依頼記事	投稿記事	刷上標準頁	総字数*
(Ⅰ) 本文記事					
(1) 巻頭言	・本学会の会長や理事などの抱負，所感	○		1	1936
(2) 特別論説 「情報処理最前線」	・学会，産業界における最近のホットな話題をやさしく解説したもの	○		6	11,616
(3) 解説	・新しい技術の動向などについて一般の会員を対象として平易に解説したもの	○		6	11,616
(4) 展望	・新しい理論，技術などの展望を比較的専門の立場から論説したもの	○		6	11,616
(5) 講座	・定説となっている基礎的な問題について平易に系統的に解説したもの	○		6	11,616
(6) 講演	・本学会が主催した講演の要旨	○		6	11,616
(7) 座談会	・学会誌編集委員会が企画した座談会の要約	○		6	11,616
(8) 事例	・具体的システム事例の紹介，情報戦略に関するトップインタビュー	○		5	9,680
(9) 論説	・情報処理に関する社会的な視野から見た主張や理論，技術，動向など会員が関心を持つ事項の論説	○	○	4	7,744
(10) 報告	・総合的なプロジェクトや研究活動等の紹介，報告	○	○	4	7,744
(11) 会員の声	・本学会および学会誌に対する会員からの意見，提案	○	○	0.5	968
(12) 書評	・図書の紹介および批評	○		1	1,936
(13) ニュース	・国内外の会議への参加報告など	○		0.5	968
(14) 図書寄贈一覧					
(15) 論文誌アブストラクト					
(Ⅱ) 本会記事	・理事会，各種委員会の報告など				
(Ⅲ) 会告	・学会からのお知らせ，行事案内，会議案内，教官募集など				
(Ⅳ) 巻末記事					

*タイトル，図表などすべてを含めた字数（タイトル・著者名・著者紹介で 374 字とする。）

2.「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内

2.1 論文誌発行の目的

論文誌は会員の研究成果の発表およびこれに関連する討論の場を提供するために刊行される。

2.2 論文誌の掲載記事

- (1) 論文誌の記事は会員が自発的に執筆し投稿するもので、論文、テクニカルノートおよび誌上討論の3種類がある。

論文

学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値のあるもの。

テクニカルノート

新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。誌上討論

掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。

- (2) 学術雑誌に投稿中または採択された論文と内容が同一の投稿原稿は採録しない。ただし、本論文誌に採択されたテクニカルノートをもとに発展、充実させたものはその限りではない。
- (3) 投稿者は原則として本学会会員に限る。寄稿者が連名の場合は、少なくとも1名は本学会会員でなければならない。
- (4) 掲載記事の内容についての最終責任は著者が負うものとする。

2.3 投稿手続

- (1) 投稿原稿は日本語あるいは英語で、第1表に示す刷上標準ページ数に収まるように記述することが望ましい。
- (2) 投稿原稿の形式は、2.6記載の「論文投稿形式」に従わなければならない。ただし、誌上討論に関しては形式は自由とする。
- (3) 投稿原稿に対し学会は、受付日と受付番号を付した原稿受領書を発行する。投稿原稿の問合せなどは、以後、この受付番号で行うものとする。
- (4) 原稿の送付先および問合せ先は下記の学会事務局とする。

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20
芝浦前川ビル 7F
(社) 情報処理学会 論文誌係

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

2.4 投稿原稿の取扱い

- (1) 論文誌への掲載は論文誌編集委員会で決定し、その採否を投稿者に通知する。
- (2) 論文とテクニカルノートは、査読委員による審査過程を経る。論文の場合、著者に照会し回答を求めたうえで、改めて審査を行い採否を決定することがある。
- (3) 採録が決定した論文、テクニカルノートは、委員会翌月の学会誌上にその旨を発表する。また、論文誌に掲載する際には、末尾に、原稿受付日及び採録決定日を付記する。
- (4) 照会は、部分的に論旨が不明な点、あるいは、錯誤と思われる箇所についての問合せを主眼として行う。照会は原則として1回とする。照会への回答は書面で行う。場合によっては質問事項に関連して原稿に手を加えることができる。この場合、変更箇所と変更理由を明示しなければならない。回答期限は3カ月以内で、これを経過した場合は、取り下げたものとみなす。
- (5) 不採録と決定した原稿は、不採録理由を付して著者に返却する。
- (6) 投稿論文およびテクニカルノートは、次の場合に不採録とする。
 - (a) 既発表または周知のものから容易に類推される内容である。
 - (b) 内容が不十分で、読者の参考にならないと考えられる。
 - (c) 本質的な誤り、または、客観的に認知できない記述がある。
 - (d) 文章表現や構成において問題があり、軽微の修正で改善の見込みがない。あるいは、内容に比べて著しく冗長である。
 - (e) 本学会と関連性が薄い分野の論文である。
 - (f) その他編集委員会が不適当と判定したもの。
- (7) 著者は投稿原稿を取り下げることができる。この場合、書面で論文誌編集委員会に申し出なければならない。

2.5 掲載決定通知、別刷等

- (1) 投稿原稿の採録が決まると、採録決定通知を投稿者に送付する。この時点で、電子入稿のための案内を同封するので、その指示に従い、最終原稿を提出すること。

第1表 論文誌の投稿記事種目

種 目	内 容	刷上標準 ページ数	ワープロによる 和文記事原稿枚数	英文記事語数
(1)論文	学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値のあるもの。	8 以内	24	6,000
(2)テクニカル ノート	新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。	2*	6	1,500
(3)誌上討論	掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。	1	3	750

原稿枚数、語数はタイトルや図表などを含めた数値
ワープロの場合の原稿用紙 (24 × 26 行 = 624 字)
英文記事は刷上1ページあたり約 750 語

* 上限 4P

第2表 論文誌別刷価格表（単位：円）

ページ数 部数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
100	11,000	22,000	33,000	44,000	55,000	66,000	86,000	106,000	136,000
200	12,000	23,000	34,000	45,000	56,500	67,500	87,500	107,500	137,500
300	13,000	24,000	35,000	46,000	58,000	69,000	89,500	109,500	139,500
400	14,000	25,000	36,000	47,000	59,500	70,500	91,500	111,500	141,500
500	15,000	26,000	37,000	48,000	61,000	72,000	93,500	113,500	143,500

なお、8 ページを越えるときは 100 部の場合で、1 ページにつき 30,000 円加算する。カラーの場合は 1 ページあたり通常の 4 ページ分と換算する。

- (2) 採録原稿の掲載号が決まると、掲載決定通知を投稿者に送付する。
- (3) 学会は誤植防止のために著者に校正刷りを送る。校正の際の原稿及び図面の変更は認めない。
- (4) 著者から誤謬訂正の申し出があった場合、正誤表を最近号に掲載する。事情により有料となることがある。
- (5) 掲載された論文、テクニカルノートの著者は、それらの別刷を 100 部以上買いとらなければならない。価格は第 2 表による。著者校正の際、同封の別刷申込書に必要事項を記入の上、校正結果とともに返送しなければならない。
- (6) 提出された原稿および媒体は返却しない。

2.6 論文投稿形式

2.6.1 投稿原稿の構成

論文誌への投稿原稿は、次の①～⑩により構成する。
(①～⑩でオリジナル原稿一式とする)

- ① 標 題：和英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和文はなくてもよい。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。
- ② 著者名・所属：氏名、所属を和英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和文はなくてもよい。共著の場合、著者と所属機関の対応を明示すること。また、会員・非会員の別（会員の場合は会員番号も）、著者連絡先（住所、電話番号（内線）、e-mail 等。複数著者の場合は連絡担当者に＊印を付すこと）、ワープロ等の場合論文作成手段（機種およびソフト名）を用紙の下部に明記すること。（2.6.2 参照）
- ③ 和文アブストラクト：600 字（テクニカルノートは 300 字）以内。英文論文の場合は不要。
- ④ 英文アブストラクト：200 語（テクニカルノートは 100 語）以内。
- ⑤ 本 文：
- ⑥ 謝 辞：必要ならば付けてもよいが、できるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。
- ⑦参考文献：研究内容に関連して文献を引用する場合、関連する本文中の箇所の右肩に参考文献番号を書き、末尾にその文献をまとめて記述する（2.6.4 参照）。引用文献は、すでに刊行物に掲載されているか、あるいは掲載が確定している文献に限る。
- ⑧付録：長い数式の誘導の過程や、実験装置などの詳細な説明を本文に挿入すると論旨が不明瞭になる場合、

付録を設けてよい。

⑨ 図（2.6.4 参照）

⑩ 表（2.6.4 参照）

2.6.2 投稿原稿の様式

情報処理学会論文誌投稿用のスタイルファイル（以下、単にスタイルファイルという）に従って LaTeX で書式付けされた原稿を基本とする。その他のワープロ等で作成した原稿も受け付ける。

- ① LaTeX で作成する場合には、スタイルファイルに付属した説明書に従って①～⑩を記述し、注意事項を守る。使用できるフォントや組み込むことのできるポストスクリプトファイル（図表等）の形式には制限がある。注意事項が守られていない場合には処理ができずやむを得ず返却することがある。

スタイルファイルの請求方法は anonymous ftp によって、ftp://ftp.ipsj.or.jp または電子メール guide@ipsj.or.jp にて案内されている。インターネットにアクセスすることができない場合は学会に問い合わせること。

- ② 原稿をワープロ等で作成する場合は、A4 判またはレターサイズ（8.5" × 11"）の用紙を使用し、片面打ちとする。字詰は以下にすること。

和文：24 字 × 26 行

英文：ダブルスペースで、1 ページあたり約 250 語。
大見出しは 2 行どりとする。

①～⑩は別用紙に、必ず用紙を改めて記述すること。

2.6.3 投稿原稿の提出形式

原稿を投稿する際は、次の (A) ～ (D) を必要とする。不足がある場合は受け付けない。

- (A) 紙出力の原稿（オリジナル）一式（①～⑩）
- (B) キーワード・チェックリスト：情報処理学会所定のもの（7 ～ 11 頁または 11 ～ 15 頁をコピーして利用のこと）。
- (C) (A) のコピー 3 部（ただし査読用として、②著者名・所属および⑥謝辞を除いたもの。）（LaTeX のときは①、②、③④、⑤⑦⑧⑨⑩、⑥がそれぞれ別々に出力される。）。
- (D) ①標題、②著者名・所属、③和文アブストラクト、④英文アブストラクト、⑥謝辞、(B) キーワード・チェックリストのそれぞれのコピー 1 部。

2.6.4 原稿執筆上の一般的注意事項

- (1) 専門用語については、簡単な用語解説を添付する

ことが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず説明をつける。

- (2) 参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順にする。次の例を参照にされたい。
- 4) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6～10（1960）。
- 5) Feldman, J. and Gries, D.：Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113（1968）。
- 7) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京（1991）。
- 8) Wilkes, M. V.：Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York（1990）。
- (3) 図（モノクロ写真およびカラー写真を含む）および表には、図1および表1のような通し番号と名称を和文と英文でつける。ただし、英文論文の場合は和文はなくても良い。英文はその図や表の内容が本文を参照しなくても理解できるよう配慮する。

LaTeXによる場合、図表は、ポストスクリプトファイル等を組み込むことも可能。組み込むファイルの形式はスタイルファイルの説明を参照のこと。

紙に描いた図表原稿を提出する場合には、図・表は著者の提出したものを、そのまま印刷するので、下記要領により、黒インキでトレースするか、あるいは同等の画質があるものを提出すること。①刷り上り寸法の2倍大にきれいに書き、文字、記号などは明瞭に記入する。②図・表を入れる場所は、原稿用紙の欄外に明記すること。③表はできる限り簡潔に作成し、長い表は、途中を省略するか、あるいは、直接製版できる原稿にする。④図・表原本には、裏面に鉛筆で著者名と図番を記入すること。

図・表のでき上り寸法と行数または枚数の換算は次

寸法 (mm)	ワープロ原稿の場合の行数 (24 字×26 行)
A. 50×34	6 行
B. 67×50	13 行
C. 100×67	26 行
D. 134×100	39 行

のとおりである。

- (4) 数字、ローマ字、ギリシャ文字、記号などは特に明瞭に記載する。大文字・小文字、上つき、下つきの別、×（かける）とX（エックス）の別など。
- (5) 句読点は“.” および“,” を用い、それぞれ1画（1字分）を用いる。
- (6) 数式は印刷に便利なよう注意する。文中に式を挿入する場合には a/b , $\exp(t/r)$ のような記法を用いる。独立した数式は1行につき原稿用紙の2行または3行のスペースを取って書く。数式も文の一種であるから、原則として末尾に“,” または“.” を付す。ただし、プログラム言語の形式を利用する場合には、この限りではない。
- (7) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。
- (8) 原稿中にあとから文章、文字などを挿入する時は、挿入する文章や文字を欄外に明瞭にし、かつ挿入する箇所を、 $\vee$ または $\wedge$ （朱書）で示す。
- (9) 脚注は、☆, ☆☆, ☆☆☆などの記号で示し、本文中そのすぐ下に横線ではさんで記入し、脚注と朱書する。
- (10) 文中の記号で太字を使用の場合は、その記号の下に $\sim$ を朱書し、イタリック体（斜体）使用の場合はその文字の下に朱書で $\sim$ と指定する。

LaTeX で使用できるフォントの種類はスタイルの説明を参照すること。それ以外のフォントを使用したときには、予期しないできあがりとなることがある。

3. 機関誌に掲載された論文等の著作権

3.1 著作権の帰属

- (1) 機関誌に掲載された論文等（以下論文等という）の著作権は原則として本学会に帰属する。
- (2) 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議のうえ措置する。なお特別な事情としては次のような例を想定する。
 - ・依頼論文等であって、その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので、著作権の本学会への移転帰属に關し当該法人等の了解が得られない場合。
 - ・特別講演記事などで著者の了解が得られない場合。

3.2 著作権の本学会への移転帰属による運用効果および運用上の措置等

- (1) 論文等の著作権は本学会に帰属するが、著作者人格権は著者に帰属する。ただし、著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに対し、本学会はこれに異議申立て、もしくは妨げることをしない。この場合著者は本学会に申し出を行い、また利用された複製物あるいは著作物中に出典を明記すること。

- (2) 本学会は論文等の複製を行うことができる。ただしこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (3) 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合、本学会理事会において審議し、適当と認めたものについて要望に応ずることができる。ただしこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (4) 前項の措置によって、第三者から本学会に対価の支払があった場合には関係する著者に報告のうえ、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

3.3 著作権侵害等に関する注意事項

- (1) 執筆に当たっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (2) 著者は公表された著作物を引用することができる。引用した場合はその出典を明示すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う。

キーワード（論文誌投稿用）

[寄稿者用]

(1) あなたが寄稿する原稿の内容に最も関係の深い項目（1つ）に◎印、関係する項目（複数個も可）に○印を付けてください。

大項目	中項目	小項目 () は該当項目のないときに分野名を記入
001 基礎理論と基礎技術	01 情報数学	01 形式論理, 02 オートマトン理論, 03 言語理論, 04 計算可能性の理論, 05 計算の複雑さ, 06 グラフ理論, 07 組合せ理論, 08 符号理論, 09 情報理論, 10 ペトリネット, 99 その他()
	02 非線形力学	01 カオス, 02 フラクタル, 99 その他()
	03 アルゴリズム理論	01 離散アルゴリズム, 02 データ構造, 03 並列・分散アルゴリズム, 04 確率アルゴリズム, 05 近似アルゴリズム, 06 計算幾何学, 07 探索アルゴリズム, 08 計算代数学, 09 計算的学習理論, 10 数式処理, 11 浮動小数点処理, 99 その他()
	04 オペレーションズリサーチ	01 線形・非線形計画法, 02 動的計画法, 03 整数計画法, 04 ゲーム理論, 05 待ち行列理論, 06 ネットワーク理論, 99 その他()
	05 確率・統計	01 推定・検定, 02 確率モデル, 03 統計・確率計算, 04 多変量解析, 05 時系列解析, 99 その他()
	06 数値計算	01 誤差解析, 02 関数近似, 03 補間, 04 線形方程式, 05 非線形方程式, 06 固有値問題, 07 数値微分, 08 数値積分, 09 常微分方程式, 10 偏微分方程式, 11 積分方程式, 12 極値問題, 13 特殊関数, 14 乱数, 99 その他()
	07 数値シミュレーション	01 有限要素法, 02 差分法, 03 境界要素法, 04 モンテカルロ法, 05 粒子シミュレーション, 06 可視化, 99 その他()
	08 高性能計算	01 並列化, 02 ベクトル化, 03 性能評価, 99 その他()
002 人工知能と認知科学	01 知識処理	01 探索, 02 定理自動証明, 03 推論方式, 04 知識表現, 05 知識獲得, 06 知識ベース, 07 非単調論理, 08 ファジィ推論, 09 不確実性処理, 10 学習, 11 理解・識別論, 12 分散・協調AI, 99 その他()
	02 人工知能システム	01 エキスパートシステム, 02 エキスパートシステム構築ツール, 03 ゲームプログラム, 04 知能ロボット, 05 知的インタフェース, 99 その他()
	03 自然言語処理	01 機械翻訳, 02 形態素解析, 03 構文解析, 04 意味解析, 05 文生成, 06 談話理解, 07 文法, 08 辞書, 09 言語理論, 10 言語行動, 11 言語資料・統計, 12 言語データベース, 14 文脈解析, 15 知識表現, 99 その他()
	04 生体情報処理	01 視覚, 02 聴覚, 03 神経モデル, 04 サイバネティクス, 05 自己組織化, 06 ニューラルネット, 07 遺伝的アルゴリズム, 08 人工生命, 99 その他()
	05 感性情報処理	01 心理モデル, 02 行動モデル, 03 感情モデル, 04 ヒューマンインタフェース, 05 映像, 06 音楽, 99 その他()
003 メディア情報処理	01 音声言語情報処理	01 音声分析・加工, 02 音声インタフェース, 03 音声認識・理解, 04 音声合成・テキスト音声変換, 05 音声対話・翻訳, 06 話し言葉の解析・生成, 07 話者・言語識別, 08 言語モデル・音声言語コーパス, 09 音声応用, 99 その他()
	02 画像信号処理	01 画質改善, 02 帯域圧縮, 03 符号化, 04 リモートセンシング, 99 その他()
	03 画像・図形認識	01 画像理解, 02 物体認識, 03 文字認識, 04 パターン認識, 05 図面認識, 06 コンピュータビジョン, 07 ロボットビジョン, 08 視覚モデル, 09 3次元形状復元, 10 3次元画像処理, 11 色彩画像処理, 12 画像データベース, 13 ステレオ画像解析, 14 動画画像処理, 99 その他()
	04 コンピュータグラフィクス	01 CGシステム, 02 CAD/CAM, 03 形状モデリング, 04 レンダリング, 05 可視化, 06 アニメーション, 07 モーション, 08 ステレオ表示, 09 仮想現実感, 10 デザイン, 11 画像データベース, 99 その他()

大項目	中項目	小項目 () は該当項目のないときに分野名を記入
003 メディア 情報処理	05 テキスト処理	01 ワードプロセッシング, 02 日本語入出力, 03 文書処理, 04 卓上出版, 05 フォントデザイン, 06 SGML, 07 パターン照合アルゴリズム, 99 その他()
	06 メディア 処理装置	01 ディスプレイ装置, 02 ハードコピー装置, 03 文字読取装置, 04 画像入 出力装置, 05 画像処理プロセッサ, 06 音声入出力装置, 99 その他()
	07 マルチメディア 処理	01 マルチメディア, 02 ハイパメディア, 99 その他()
004 ソフトウェ ア	01 基礎理論	01 プログラム理論, 02 オペレーティングシステム理論, 03 形式的意味論, 04 算法論理, 05 検証理論, 06 カテゴリ理論, 07 属性文法, 08 計算パラダ イム, 09 プログラム合成・変換, 99 その他()
	02 プログラミング 言語と仕様記述	01 手続き型言語, 02 論理型言語, 03 関数型言語, 04 オブジェクト指向言 語, 05 並列処理言語, 06 システム記述言語, 07 数式処理言語, 08 シミュ レーション言語, 09 仕様記述言語, 10 第四世代言語(4GL), 99 その他()
	03 言語処理系	01 構文解析, 02 コード生成, 03 最適化, 04 コンパイラ, 05 インタプリタ, 99 その他()
	04 ツール	01 エディタ, 02 デバッガ, 03 ベリファイヤ, 04 コンパイラジェネレータ, 99 その他()
	05 ウィンドウ システム	01 ユーザインタフェース管理システム, 99 その他()
	06 オペレーティ ングシステム	01 記憶管理, 02 入出力管理, 03 障害管理, 04 通信管理, 05 ファイル管 理, 06 ジョブ・タスク管理, 07 自動運転管理, 08 並列分散処理, 09 シス テム管理, 10 例外処理, 11 性能評価, 12 リアルタイムOS, 13 マルチメ ディアOS, 14 分散・並列OS, 99 その他()
	07 プログラミング 技術	01 データ構造, 02 ガーベッジコレクション, 03 ハッシング, 04 ソーティ ング, 05 サーチング, 06 ベクトル化, 07 並列化, 08 記号処理, 09 計算の モデル, 10 プログラミング工程, 11 支援環境, 12 プログラミングパラダイ ム, 13 ビジュアルプログラミング, 99 その他()
005 データベー ス	01 データベース	01 データモデル, 02 データベース言語・DBPL, 03 データベース設計, 04 一貫性制約, 05 データベース管理システム, 06 質問処理, 07 トランザ クション管理, 08 DB構成(編成・アクセス法), 09 信頼性・障害管理, 10 並列・超並列DB, 11 OLTP, 12 分散・マルチDB, 13 データベースOS, 14 性能評価, 15 マルチメディアDB, 16 演繹DB, 17 オブジェクト指向 DB, 18 オフィスDB, 19 エンジニアリングDB, 20 文書DB, 21 画像DB, 22 音声DB, 23 地理DB, 24 データディクショナリ・リボトリ, 25 DBア プリケーション(システム, 開発環境), 26 DBシステム技術(データ分析・設 計・構築・運用), 27 ハイパテキスト, 28 ハイパメディア, 29 データベー スマシン, 99 その他()
	02 情報学基礎	01 情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02 概念体系, 03 用語, 04 辞書, 05 シソーラス, 06 大量情報の知識化, 07 知識発見, 08 自己組織化, 09 全文DB, 10 文書DB, 11 情報検索システム, 12 情報資 源管理, 13 遺伝子情報処理, 14 図書館情報学, 99 その他()
006 ソフトウェ ア工学	01 開発技術	01 要求獲得・分析法, 02 仕様記述法, 03 設計法, 04 プログラミング方法 論, 05 プロトタイピング, 06 実行可能仕様, 07 部品化・再利用技術, 08 ドメイン分析・モデリング, 09 プログラム自動合成, 10 OOA/OOD, 11 代数的仕様, 12 リバースエンジニアリング, 13 構造化分析/設計, 14 ソフトウェアアーキテクチャ, 99 その他()
	02 テスト・保守 ・管理	01 プログラムのテスト・デバッグ, 02 プログラム検証, 03 仕様検証, 04 レビュー/インスペクション, 05 性能評価, 06 プログラム解析, 07 保守運用管理, 08 メトリクス, 09 版管理, 10 構成管理, 11 プロジェク ト管理, 12 見積もり, 13 プログラムの複雑度, 14 リスク管理, 15 コスト 管理, 16 ソフトウェア工場, 99 その他()

大項目	中項目	小項目 () は該当項目のないときに分野名を記入
006 ソフトウェア工学	03 ソフトウェアプロセス	01 プロセスモデル, 02 プロセスプログラミング, 03 工程管理, 04 プロセス成熟度モデル, 05 標準化, 99 その他()
	04 開発環境	01 構成法, 02 分散開発環境, 03 文書化支援, 04 リポジトリ, 05 SEDB, 06 グループウェア, 07 CASE, 08 プラットフォーム, 99 その他()
	05 ヒューマンファクタ	01 ヒューマンインタフェース, 02 要員教育, 03 プロジェクト管理, 99 その他()
	06 ソフトウェア品質	01 品質保証, 02 品質管理, 03 メトリクス, 04 信頼性予測, 05 品質特性, 06 信頼度成長モデル, 99 その他()
007 ハードウェア	01 基礎理論	01 組合せ回路理論, 02 順序回路理論, 03 論理設計理論, 04 レイアウトアルゴリズム, 05 ハードウェアアルゴリズム, 99 その他()
	02 論理回路	01 記憶回路, 02 演算回路, 03 制御回路, 04 誤り検出・訂正回路, 05 テスト容易化回路, 99 その他()
	03 デバイス	01 論理デバイス, 02 記憶デバイス, 03 入出力デバイス, 04 ASIC, 05 PLD, 99 その他()
	04 計算機アーキテクチャ	01 汎用計算機, 02 専用計算機, 03 高級言語マシン, 04 スーパーコンピュータ, 05 ワークステーション, 06 マイクロプロセッサ, 07 連想プロセッサ, 08 非ノイマンアーキテクチャ, 09 フォールトトレランス, 10 リアルタイムシステム, 11 DSP, 12 光コンピュータ, 13 記号処理アーキテクチャ, 14 スーパースカラ, 15 命令セットアーキテクチャ, 99 その他()
	05 メモリ・I/Oアーキテクチャ	01 キャッシュ, 02 メモリ階層, 03 仮想メモリ, 04 機能メモリ, 05 分散・共有メモリ, 06 ベクトルレジスタ, 07 磁気ディスク, 08 CD-ROM, 09 拡張記憶, 99 その他()
	06 設計技術と設計自動化	01 アーキテクチャ設計支援, 02 ハードウェア/ソフトウェア・コデザイン, 03 設計記述言語, 04 機能合成(ハイレベル・シンセシス) 05 論理合成, 06 レイアウト, 07 テスト診断法(テスト生成, 故障診断, テスト容易化設計), 08 形式的検証, 09 機能・論理シミュレーション, 10 回路シミュレーションとモデリング, 11 設計環境(CADフレームワーク, 設計データベース管理), 12 テクノロジー・マイグレーション(論理変換, 設計結果再利用), 13 CAD用ハードウェア・エンジン, 99 その他()
008 並列処理	01 並列処理アーキテクチャ	01 超並列マシン, 02 マルチプロセッサ, 03 SIMDマシン, 04 MIMDマシン, 05 データフローマシン, 06 専用並列マシン, 07 ニューロコンピュータ, 08 WSクラスタ, 99 その他()
	02 並列処理ハードウェア	01 要素プロセッサ, 02 分散・共有メモリ, 03 プロセッサ間通信・同期, 04 相互結合網, 05 スーパースカラ, 06 VLIW, 07 性能評価, 99 その他()
	03 並列処理ソフトウェア	01 並列OS, 02 並列処理言語, 03 並列化コンパイラ, 04 並列デバッグ, 05 並列化支援ツール, 06 スケジューラ, 07 負荷分散, 08 マッピング, 09 性能評価, 99 その他()
	04 並列処理応用	99 その他()
009 ネットワーク	01 通信技術	01 データ交換方式, 02 通信方式, 03 画像通信, 04 トラヒック理論, 05 ネットワークアーキテクチャ, 06 プロトコル, 07 プロトコル検証, 08 ISDN, 09 マルチメディア通信, 99 その他()
	02 ネットワーク管理	01 名前管理, 02 経路管理, 03 障害管理, 99 その他()
	03 コンピュータネットワーク	01 WAN, 02 LAN, 03 電子会議, 04 電子掲示板, 05 電子メール, 06 分散処理, 99 その他()

大項目	中項目	小項目 () は該当項目のないときに分野名を記入
010 システム	01 システム技術	01 システムの計画・分析・設計・構築・運用・利用, 02 システムニーズ・情報ニーズの獲得, 03 情報・データの管理, 04 システムとのインタフェース, 99 その他()
	02 グループウェア	01 協調基礎, 02 グループワーク応用, 03 グループワークインフラストラクチャ, 04 分散オフィス, 05 マルチユーザインタフェース, 99 その他()
	03 インタフェース	01 インタフェースモデル, 02 ヒューマンインタフェース, 03 計算機システムインタフェース, 04 マルチメディアインタフェース, 05 協調作業のインタフェース, 06 文書処理インタフェース, 99 その他()
	04 対話型システム	01 構成理論, 02 方法論, 03 CAE, 04 CAD, 05 CAM, 06 CIM, 07 CAI, 08 管制システム, 09 訓練システム, 10 意志決定システム, 11 オフィスシステム, 99 その他()
	05 オンラインリアルタイムシステム	01 予約システム, 02 バンキングシステム, 99 その他()
	06 制御システム	01 プロセス制御, 02 数値制御, 03 通信制御, 04 産業用ロボット, 05 FA, 06 知能ロボット, 07 リアクティブシステム, 99 その他()
	07 システム評価	01 評価技法, 02 評価指標, 03 評価モデル, 99 その他()
011 信頼性と安全性	01 信頼性	01 信頼性理論, 02 保全性理論, 03 信頼性評価, 04 故障解析, 05 二重系, 06 待機系, 99 その他()
	02 機密保護	01 暗号理論, 02 認証, 03 鍵管理, 04 鍵配送, 05 セキュリティ, 99 その他()
012 教育	01 教育	01 専門技術者・研究者の育成教育法, 02 情報科学・工学の教育, 03 コンピュータリテラシ, 04 カリキュラム, 05 CAI, 06 知的CAI, 07 教育工学, 99 その他()
013 応用	01 企業等への応用	01 オフィス, 02 行政, 03 経営, 04 金融, 05 情報サービス, 06 生産管理, 07 計算機センタ運営, 99 その他()
	02 工学等への応用	01 航空・宇宙, 02 機械, 03 土木, 04 建築, 05 都市, 06 電気・電子, 07 計測, 08 生物, 09 物理, 10 化学, 11 原子力, 12 輸送・交通, 13 医学・歯学, 99 その他()
	03 音楽への応用	01 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 02 電子楽器, 03 音楽信号処理, 04 AIと音楽, 05 音楽の認知・知覚・感性情報, 06 音楽情報処理システム, 99 その他()
	04 人文科学への応用	01 人文科学・博物館・美術館への情報処理, 02 人文科学系ユーザ向きインタフェース, 03 情報処理と人文科学系間での学術的協力, 99 その他()
	05 障害者補助	
	06 その他への応用	
014 その他	01 社会	01 規格, 標準化, 02 知的所有権, 03 社会問題, 04 倫理, 99 その他()
	02 その他	

(2) キーワード表にとらわれず、寄稿内容を表わすキーワードを書いてください。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

*1988 年 7 月改訂

1994 年 3 月改訂

1995 年 1 月改訂

情報処理学会 原稿チェックリスト (太枠内著者記入)

受付番号		希望掲載欄		査読者			
和文 標題					原稿	枚	
英文 標題					図	枚	
					表	枚	
					アブストラクト	枚	
項目	検 討 内 容 (適当であると認められれば○印, そうでないとき×印, 投稿は著者の欄に自分の判定結果を記入すること)	著者	査読結果				
			第1回	第2回	第3回		
標 題 抄 録 等	掲載欄は著者の指定通りでよいか						
	第3者(著者以外の人)が目を通しているか		(事務局)				
	和文標題は内容を適切に表しているか						
	英文標題はないようを適切に表現し, 英語としても適切か						
	アブストラクトは主旨を適切に表現し, 英文も適切か						
本 文	在来研究との関連, 研究の動機, ねらい等が明確に説明されているか						
	既発表の論文等との間に重複はないか						
	章, 節のたて方, 全体の構成等は適切か						
	説明に冗長な点, 逆に簡単すぎる点はないか						
	説明に飛躍した点はないか仮定等の説明は十分か						
	記号・略号等は周知のものか用語は適切か						
	図・表の説明は適当か(本文中および各図のキャプション)						
	科学技術論文として不適当な表現や, 判りにくい表現はないか						
	結論が明確に記されており, 範囲, 限界, 問題点などの指摘が適切で, 内容にそったものであるか						
図 表	図表自体は十分に明解であるか, 誤りはないか						
	十分に鮮明か		(事務局)				
	大きさ, 縮尺の指定は適切か		(事務局)				
文 献	適切な文献が引用されており, その数も適切か						
総 合 評 価	創意の程度(最高を5とした5段階評価)						
	資料価値, 読者にとって有益な情報の量(最高を5とした5段階評価)						
	興味を持つ読者の多少(非常に多い場合5, ほとんどないとき1)						
	原稿の取り扱い(このまま掲載=3 照会後判定=2 不採録=1)						
査 読 歴	回 数	第 1 回		第 2 回		第 3 回	
	依 頼	年 月 日	原稿 枚	年 月 日	原稿 枚	年 月 日	原稿 枚
	期 日	年 月 日	図 枚	年 月 日	図 枚	年 月 日	図 枚
	返 着	年 月 日	表 枚	年 月 日	表 枚	年 月 日	表 枚
連 絡 事 項	第 1 回		第 2 回		第 3 回		

Keywords (Transactions of Information Processing Society of Japan)

Mark a single circle on keywords that relate to the contents of your paper, mark a double circle on a keyword that you think best describe the contents of your paper. Use others to fill in new keywords if it is difficult to make a reasonable choice from the table.

Category	Subcategory	Items(Enter Keywords in () when necessary.)
001 Fundamental Theory and Technology	01 Information Mathematics	01 Formal logic, 02 Automata, 03 Formal languages, 04 Theory of computation, 05 Complexity theory, 06 Graph theory, 07 Combinatorics, 08 Coding theory, 09 Information theory, 10 Petri net, 99 Others ()
	02 Nonlinear Dynamics	01 Chaos, 02 Fractal, 99 Others ()
	03 Algorithms	1001 Discrete algorithms, 02 Data structures, 03 Parallel/distributed algorithms, 04 Probabilistic/randomized algorithms, 05 Approximation algorithms, 06 Computational geometry, 07 Search algorithms, 08 Computational algebra, 09 Learning theory, 10 Formula manipulation, 11 Floating-point operations, 99 Others()
	04 Operations Research	01 Linear/nonlinear programming, 02 Dynamic programming, 03 Integer programming, 04 Game theory, 05 Queuing theory, 06 Network theory, 99 Others()
	05 Probability/ Statistics	01 Estimation and testing, 02 Probabilistic model, 03 Computation of statistics / probability, 04 Multivariate analysis, 05 Time series analysis, 99 Others ()
	06 Numerical Computation	01 Error analysis, 02 Function evaluation, 03 Interpolation, 04 Linear algebra, 05 Nonlinear equations, 06 Eigenvalue problem, 07 Numerical differentiation, 08 Numerical integration, 09 Differential equations, 10 Partial differential equations, 11 Integral equations, 12 Extremal problem, 13 Special function, 14 Random numbers, 99 Others ()
	07 Numerical Simulation	01 Finite element method, 02 Finite difference method, 03 Boundary element method, 04 Monte-carlo method, 05 Particle simulation, 06 Visualization,
	08 High Performance	01 Parallelization, 02 Vectorization, 03 Performance evaluation, 99 Others ()
002 Artificial Intelligence and Cognitive Science	01 Knowledge Processing	01 Search, 02 Automated theorem proving, 03 Inference methods, 04 Knowledge representation, 05 Knowledge acquisition, 06 Knowledge base, 07 Non-monotonic logic, 08 Fuzzy reasoning, 09 Computation with uncertainty, 10 Learning, 11 Understanding and cognitive theory, 12 Distributed and collaborative/ cooperative artificial intelligence, 99 Others ()
	02 Artificial Intelligence	01 Expert system, 02 Expert system development tools, 03 Game program, 04 Intelligent robot, 05 Intelligent interface, 99 Others ()
	03 Natural Language Processing	01 Machine translation, 02 Morphological analysis, 03 Syntactic analysis, 04 Semantic analysis, 05 Sentence generation, 06 Discourse understanding, 07 Grammar, 08 Dictionary, 09 Linguistic theory, 10 Speech act theory, 11 Linguistic data and statistics, 12 Language database, 14 Contextual analysis, 15 Knowledge representation, 99 Others ()
	04 Biological Information	01 Vision, 02 Auditory sense, 03 Neural model, 04 Cybernetics, 05 Self organization, 06 Artificial neural network, 07 Genetic algorithm, 08 Artificial life, 99 Others ()
	05 Kansei Information Processing	01 Psychological model, 02 Behavior model, 03 Emotion model, 04 Human interface, 05 Video image, 06 Music, 99 Others()
003 Pattern Information Processing	01 Spoken Language Processing	01 Speech analysis, 02 Interface with spoken language, 03 Speech recognition / understanding, 04 Speech synthesis, text-to-speech, 05 Spoken dialogue / translation, 06 Analysis and generation of spoken language, 07 Speaker / language recognition, 08 Language model, spoken language corpus, 09 Application of speech, 99 Others ()
	02 Image Signal Processing	01 Image quality control, 02 Bandwidth compression, 03 Encoding, 04 Remote sensing, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items(Enter Keywords in () when necessary.)
03 Pattern information processing	03 Image/Pattern Understanding	01 Scene analysis, 02 Object recognition, 03 Character recognition, 04 Pattern classification, 05 Drawing analysis, 06 Computer vision, 07 Robot vision, 08 Vision model, 09 Shape from X , 10 Range image processing, 11 Color image processing, 12 Image database, 13 Stereo vision, 14 Motion analysis, 99 Others ()
	04 Computer Graphics	01 CG System, 02 CAD/CAM, 03 Modeling, 04 Rendering, 05 Visualization, 06 Animation, 07 Motion, 08 3D vision, 09 Virtual reality, 10 Designing,
	05 Document Processing	01 Word processing, 02 Japanese language input/output, 03 Document processing, 04 Desk top publishing, 05 Font design, 06 SGML, 07 Pattern matching algorithm,
	06 Hardware System	01 Display device, 02 Hard copy device, 03 OCR, 04 Imaging system, 05 Image/video Processor, 06 Speech analyzer/synthesizer, 99 Others ()
	07 Multimedia Processing	01 Multimedia, 02 Hypermedia, 99 Others ()
04 software	01 Foundation	01 Programming theory, 02 Operating system theory, 03 Formal semantics, 04 Algorithm logic, 05 Verification theory, 06 Category theory, 07 Attribute grammar, 08 Computation paradigm, 09 Program synthesis / transformation, 99 Others ()
	02 Programming Language and Specification Language	01 Procedural language, 02 Logic language, 03 Functional language, 04 Object oriented language, 05 Parallel processing language, 06 System description language, 07 Expression manipulation language, 08 Simulation language, 09 Specification language, 10 Fourth generation language(4GL), 99 Others ()
	03 Language Processing	01 Syntax analysis, 02 Code generation, 03 Optimization, 04 Compiler, 05 Interpreter, 99 Others ()
	04 Tool	01 Editor, 02 Debugger, 03 Verifier, 04 Compiler generator, 99 Others()
	05 Window System	01 User interface management system, 99 Others()
	06 Operating System	01 Memory management, 02 I/O management, 03 Fault / failure management, 04 Communication management, 05 File management, 06 Job / task management, 07 Automatic operation management, 08 Parallel / distributed processing, 09 System management, 10 Exception handling, 11 Performance evaluation, 12 Realtime OS, 13 Multimedia OS, 14 Distributed / parallel OS, 99 Others()
	07 Programming Method	01 Data structure, 02 Garbage collection, 03 Hashing, 04 Sorting, 05 Searching, 06 Vectorization, 07 Parallelization, 08 Symbol processing, 09 Computational model, 10 Programming process, 11 Programming environment, 12 Programming paradigm, 13 Visual programming, 99 Others()
05 Database	01 Database	01 Data model, 02 Database language, DBPL, 03 Database design, 04 Integrity constraint, 05 Database management system, 06 Query processing, 07 Transaction management, 08 Database structure (organization, access method), 09 Reliability, fault management, 10 Parallel database, massively parallel database, 11 OLTP, 12 Distributed database, multi-database, 13 Database operating system, 14 Performance evaluation, 15 Multimedia database, 16 Deductive database, 17 Object-oriented database, 18 Office database, 19 Engineering database, 20 Document database, 21 Image database, 22 Audio database, 23 Spatial database, 24 Data dictionary, repository, 25 Database application (system, development environment), 26 Database system technology (data analysis, design, construction, and running), 27 Hypertext, 28 Hypermedia, 29 Database machine,
	02 Fundamentals of Informatics	01 Representation, identification, classification, retrieval, distribution and management of information, 02 Ontology, 03 Terminology, 04 Dictionary, 05 Thesaurus, 06 Knowledge organization of large amount of information, 07 Knowledge discovery, 08 Self-organization, 09 Full text DB, 10 Document DB, 11 Information retrieval system, 12 Information resource management, 13 Genetic information processing, 14 Library and information science, 99 Others ()
06 software engineering	01 Development Methodology	01 Requirements elicitation / analysis, 02 Specification, 03 Design, 04 Programming method, 05 Prototyping, 06 Executable specification, 07 Reuse, 08 Domain analysis / modeling, 09 Program synthesis, 10 OOA/OOD, 11 Algebraic specification, 12 Reverse engineering, 13 Structured analysis / design, 14 Software architecture, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items(Enter Keywords in () when necessary.)
006 Software Engineering	02 Test, Maintenance, Management	01 Test / debug, 02 Program verification, 03 Specification verification, 04 Review / inspection, 05 Performance evaluation, 06 Program analysis, 07 Maintenance management, 08 Metrics, 09 Version control, 10 Configuration management, 11 Project management, 12 Estimation, 13 Program complexity, 14 Risk management, 15 Cost management, 16 Software factory, 99 Others ()
	03 Software Process	01 Process model, 02 Process programming, 03 Process management, 04 Process maturity model, 05 Process standardization, 99 Others ()
	04 Development Environment	01 Architecture, 02 Distributed environment, 03 Documentation support, 04 Repository, 05 SEDB, 06 Groupware, 07 CASE, 08 Platform,
	05 Human Factor	01 Human interface, 02 Education / training, 03 Project management, 99 Others ()
	06 Software Quality	01 Quality assurance, 02 Quality control, 03 Metrics, 04 Reliability estimation, 05 Quality parameter, 06 Reliability model, 99 Others ()
007 Hardware	01 Fundamental Theory	01 Combinatorial circuit theory, 02 Sequential circuit theory, 03 Logic design theory, 04 Layout algorithm, 05 Hardware algorithm, 99 Others ()
	02 Logic Circuits	01 Memory circuit, 02 Arithmetic circuit, 03 Controller, 04 Error detection/correction, 05 Testability circuit, 99 Others ()
	03 Devices	01 Logic device, 02 Memory device, 03 Input/output device, 04 ASIC, 05 PLD, 99 Others()
	04 Computer Architecture	01 General purpose computer, 02 Special purpose computer, 03 High level language machine, 04 Supercomputer, 05 Workstation, 06 Microprocessor, 07 Associative processor, 08 Non von Neumann architecture, 09 Fault tolerance, 10 Real time system, 11 DSP, 12 Optical computer, 13 Symbol processing machine, 14 Superscalar, 15 Instruction set architecture, 99 Others ()
	05 Memory and Peripheral	01 Cache, 02 Memory hierarchy, 03 Virtual memory, 04 Functional memory, 05 Distributed/shared memory, 06 Vector register, 07 Disk, 08 CD-ROM,
	06 Design Methodology/ Automation	01 Architecture design support, 02 Hardware/software co-design, 03 Hardware description language, 04 High level synthesis, 05 Logic synthesis, 06 Layout, 07 Design and testability (test pattern generation, fault diagnosis, design for testability), 08 Formal verification, 09 Functional and logic simulation, 10 Modeling and circuit simulation, 11 Design environment(CAD framework, design data management), 12 Technology migration (logic transformation, resynthesis),
008 Parallel Processing	01 Parallel Computers	01 Massively parallel computer, 02 Multiprocessor, 03 SIMD computer, 04 MIMD computer, 05 Dataflow computer, 06 Special purpose parallel computer, 07 Neuro-
	02 Hardware Architecture	01 Processing element, 02 Distributed/shared memory, 03 Interprocessor communication and synchronization, 04 Network, 05 Superscalar, 06 VLIW, 07 Performance evaluation, 99 Others ()
	03 Software	01 Parallel operating system, 02 Parallel languages, 03 Parallelizing compiler, 04 Parallel debugger, 05 Parallel programming tools, 06 Scheduler, 07 Load
	04 Applications	99 Others ()
009 Network	01 Communication Technologies	01 Data switching, 02 Communication principles, 03 Visual communication, 04 Traffic theory, 05 Network architecture, 06 Protocol, 07 Protocol validation, 08 Integrated services digital network (ISDN), 09 Multimedia communication, 99 Others ()
	02 Network Management	01 Naming, 02 Routing, 03 Failure management, 99 Others ()
	03 Computer Network	01 Wide area network (WAN), 02 Local area network (LAN), 03 Teleconference, 04 Bulletin board system, 05 Electronic mail, 06 Distributed processing, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items(Enter Keywords in () when necessary.)
10 System	01 System Methodology	01 System planning, analysis, design, implementation, operation, usage, 02 System needs elicitation, 03 Information / data management, 04 System interface,
	02 Groupware	01 Concurrent engineering, 02 Group work application, 03 Group work infrastructure, 04 Distributed office, 05 Multi-user interface,
	03 Interface	01 Interface model, 02 Human interface, 03 Machine interface, 04 Multi-media interface, 05 Concurrent engineering interface, 06 Documentation interface,
	04 Interactive System	01 Architecture, 02 Principle, 03 CAE, 04 CAD, 05 CAM, 06 CIM, 07 CAI, 08 Monitoring system, 09 Training system, 10 Decision support system, 11 Office
	05 Online Realtime System	01 Reservation system, 02 Banking system, 99 Others ()
	06 Control System	01 Process control, 02 Numerical control, 03 Communication control, 04 Industrial robot, 05 FA, 06 Intelligent robot, 07 Reactive system, 99 Others ()
	07 System Evaluation	01 Evaluation method, 02 Metrics, 03 Evaluation model, 99 Others ()
11 Reliability and Security	01 Reliability	01 Reliability theory, 02 Maintainability, 03 Reliability evaluation, 04 Fault analysis, 05 Dual system, 06 Duplex/stand-by system, 99 Others ()
	02 Information Security	01 Cryptography, 02 Authentication, 03 Key management, 04 Key distribution, 05 Security, 99 Others ()
12 Education	01 Education	01 Training of professional engineers and researchers, 02 Education of computer science and engineering, 03 Computer literacy, 04 Curriculum, 05 CAI, 06 ICAI,
13 Applications	01 Applications to Enterprises	01 Office, 02 Public administration, 03 Business administration, 04 Finance, 05 Information services, 06 Production control, 07 Administration of computing
	02 Applications to Engineering and Science	01 Aviation and aerospace, 02 Mechanical engineering, 03 Civil engineering, 04 Architecture, 05 Urban engineering, 06 Electrical engineering and electronics, 07 Measurement, 08 Biology, 09 Physics, 10 Chemistry, 11 Atomic energy, 12 Transportation, 13 Medicine and dentistry, 99 Others ()
	03 Applications to Music	01 Composition, arrangement, performance and accompaniment, 02 Electronic instruments, 03 Music signal processing, 04 Music and artificial intelligence, 05 Cognitive, perceptive and sensitive information of music, 06 Music information processing system, 99 Others ()
	04 Applications to Humanities	01 Information processing of humanities, museum and art gallery, 02 User interface of humanity applications, 03 Cooperation between humanities and informatics,
	05 Application to the Disabled	
	06 Other Applications	
14 Others	01 Society	01 Standards and standardization, 02 Intellectual properties, 03 Social problems, 04 Ethics, 99 Others ()
	02 Others	

When appropriate keywords that describe the contents of your paper are not found, or if there are any keywords more suitable, write them below.

- 1)
- 2)
- 3)

定 期 刊 行 物 の 省 略 記 法

(ISO 4, ISO 833 による)

誌 名	省 略 記 法
ACLS Newsletter	ACLS Newsl.
ACM Transactions on Database Systems	ACM Trans.Database Syst.
ACM Transactions on Mathematical Software	ACM Trans.Math. Softw.
ACM Transactions on Programming Languages and Systems	ACM Trans.Prog.Lang.Syst.
Acta Informatica	Acta Inf.
AEDS Journal	AEDS J.
AEDS Monitor	AEDS Monit.
ALGOL Bulletin	ALGOL Bull.
American Journal of Computational Linguistics	Am.J.Comput.Linguist.
American Scientist	Am.Sci.
Annals	Ann.
The Annals of the American Academy of Political and Social Science	Annals AAPSS.
Applied Mathematics and Computation	Appl.Math.Comput.
Artificial Intelligence	Artif.Intell.
Association for Linguistic Computing-Bulletin	Assoc.Lit.Linguist.Comput.Bull.
The Australian Computer Journal	Aust.Comput.J.
Bell Systems Technical Journal	Bell Syst.Tech.J.
bit	bit
Communication of the ACM	Comm.ACM
Computer	Computer
Computer Aided Design	Comput.Aided Des.
Computer Bulletin	Comput.Bull.
Computer Design	Comput. Des.
Computer Educator	Comput.Educ.
Computer Graphics and Art	Comput.Gr.Art
Computer Vision Graphics and Image Processing	Comput.Gr.Image Process.
Computer Graphics Newsletter	Comput.Gr.Newsl.
Computer Journal	Comput.J.
Computer Languages	Computer Lang.
Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering	Comput.Methods in Appl.Mech.Eng.
Computers and Biomedical Research	Comput.Biomed.Res.
Computers & Graphics	Comput.Gr.
Computers and Humanities	Comput.Hum.
Computing	Computing
Computing Newsletter	Comput.Newsl.
Computing Surveys	Comput.Surv.
Datamation	Datamation
Education Technology	Educ.Tech.
Engineering and Instrumentation	Eng.Instrum.
IBM Journal of Research and Development	IBM J.Res.Dev.
IBM Systems Journal	IBM Syst.J.
IEEE Spectrum	IEEE Spectrum
IEEE Transactions on Computers	IEEE on Trans.Comput.
IEEE Transactions on Software Engineering	IEEE Trans.Softw.Eng.
Industrial Engineering	Ind. Eng.
Information and Control	Inf.Control
Information Processing and Management	Inf.Process.Manage.
Information Processing Letters	Inf.Process.Lett.
Information Science	Inf.Sci

誌 名	略 記 法
The Information Scientist	The Inf.Sci.
Information Systems	Inf.Syst.
Instrumentation Technology	Instrum.Technol.
International Journal of Bio-Medical Computing	Int.J.Bio-Med.Comput.
International Journal of Computer and Information Sciences	Int.J.Comput.Inf.Sci.
International Journal of Computer and Mathematics	Int.J.Comput.Math.
International Journal of General Systems	Int.J.General Syst.
International Journal of Man-Machine Studies	Int.J.Man-Mach.Stud.
Journal of the ACM	J.ACM
Journal of the American Society for Information Sciences	J.Am.Soc.Inf.Sci.
Journal of the American Statistical Association	J.Am.Stat.Assoc.
Journal of Chemical Information & Computer Sciences	J.Chem.Inf.Comput.Sci.
Journal of Clinical Computing	J.Clin. Comput.
Journal of Computational Physics	J.Comput.Phys.
Journal of Computer and System Sciences	J.Comput.Syst.Sci.
Journal of Cybernetics and Information Sciences	J.Cybern.Inf.Sci.
Journal of the Franklin Institute	J.Franklin Inst.
Journal of Symbolic Logic	J.Symbolic Logic
Journal of Systems Management	J.Syst.Manage.
Law and Computer Technology	Law Comput.Technol.
Management Information Systems Quarterly	Manage.Inf.Syst.Q
Management Science	Manage.Sci.
Mathematical Programming	Math.Program.
Mini-Micro Systems	Mini-Micro Syst.
Nachrichtentechnische Zeitschrift	Nachrichtentech.Z.
Operations Research	Oper.Res.
Pattern Recognition	Pattern Recogn.
Popular Computing	Pop.Comput.
Proceedings of the IEEE	Proc.IEEE
Proceedings of the SID	Proc.SID
Science	Science
Scientific American	Sci.Am.
SIAM Journal on Applied Mathematics	SIAM J.Appl.Math.
SIAM Journal on Computing	SIAM J.Comput.
SIAM Journal on Control	SIAM J.Control
SIAM Journal on Mathematical Analysis	SIAM J.Math.Anal.
SIAM Journal on Numerical Analysis	SIAM J.Num.Anal
SIAM Review	SIAM Rev.
SID Journal	SID J.
Simulation	Simulation
Software-Practice & Experience	Softw.Pract.Exper.
Soviet Cybernetics Review	Sov.Cybern.Rev.
Theoretical Computer Science	Theor.Comput.Sci.

主) 一般的に会議論文集は次のように略記する. Proc.* * th 会議名 開催年 (例) Proc. 8 th IJCAI 1990

付 録 2

情 報 処 理 学 会 関 連 の 英 文 表 記 お よ び 略 記

誌 名	省 略 記 法
情報処理学会 (Information Processing Society of Japan)	IPS Japan
学会誌「情報処理」 (Journal of Information Processing Society of Japan)	J.IPS Japan
論文誌 (Transactions of Information Processing Society of Japan)	Trans.IPS.Japan
旧欧文誌 (Journal of Information Processing)	J.Inf.Process.
旧英文誌 (Information Processing in Japan)	
全国大会 (The**th Annual Convention IPS Japan)	
全国大会論文集 (Proceedings of the **th Annual Convention IPS Japan)	Proc.**th Annual Convention IPS Japan
研究報告 (The Special Interest Group Notes of IPSJ)	IPSJ SIG Notes
功績賞 (IPSJ Contribution Award)	
論文賞 (IPSJ Best Paper Award)	
研究賞，山下記念賞 (IPSJ SIG Research Award)	
奨励賞 (IPSJ Convention Award)	
情報処理学会30年のあゆみ－活動の軌跡と技術展望 (IPSJ and Its 30years-Review of Its Activities and Technical Perspective)	